

玉翠会報

発行所 高松番町二二
高松高等学校内
香川県立高松高等学校玉翠会
発行 間 島 賢 治
責任者 間 島 賢 治
印刷所 石田印刷(有)



ご挨拶

玉翠会会長 間島賢治

「玉翠会報」の発刊にあたり、会員の皆様におかれましては日頃より当会の運営に関して多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年度は、久しぶりに男子生徒の入学の方が多かったようですが、高松高校は一年約二八〇名で男子生徒より女子生徒が多く、また文系よりも理系が多い状況です。皆様の頃と比較していかがでしょうか。昭和四十七卒は六〇〇名を超え、文系の生徒のほうが多く、理系の私は三年生の時には男子生徒だけの俗に言う「野郎組」でした。今後は更なる少子高齢化が予想されており、同窓会組織の維持も懸念されます。そこで、本部も各地玉翠会総会のように理事・代議員会の懇親会から、全員が参加いただける懇親会に、来年の二〇二七年総会から変更を検討しています。香川県は大学進学者の八割程度が県外大学に進学しており、高松高校卒業生の県内就職者も少なくなっています。今後の円滑な運営には、創立一三〇周年記念行事にも活躍いただいた皆様の英知が必要です。将来、玉翠会の運営を担っていただける香川県内在住の卒業生の参加が増え、同窓会活動が順調に継続で

きることを期待しています。

さて、高校授業料の無償化が進められています。公立学校の授業料程度に加え、私立学校もほぼ授業料が無償化する金額が助成されます。また、中高一貫校が全国的に注目される中、本県でも新しい中高一貫校の設置が検討されますが、母校の今後の状況を注視したいと思っています。

なお、皆様からお振込いただく年会費の中から現役生徒に奨学金を助成させていただいていますが、授業料以外にも必要経費が多くあり、授業料が無償化になっても従来通り学校側にご推薦いただいた生徒に助成させていただきまますので、ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

多世代に対応したコミュニケーションツールとして玉翠会LINE公式アカウントの試験運用を終え、本年度から正式にスタートさせます。目的は、SNSツール「LINE」を使って、玉翠会が実施する事業・イベント等に関する情報や、卒業生に関する情報を効率的にお届けすることです。QRコードからアプリを読み込み、「ともだち登録」をお願いいたします。今後に向けての新しい取り組みです



ご挨拶

高松高等学校長 吉田 智

ので、多くの方にご利用いただけるように、皆様のご意見を取り入れながら継続的に改善をしていきたいと考えています。今後とも玉翠会の運営に関して、ご協力のほどよろしく

盛夏の候、玉翠会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解と多大なるご支援を賜っておりますことに心よりお礼申し上げます。

さて、私儀、今年四月の人事異動で高松高校第二十一代校長に着任いたしました吉田智と申します。これまで同様、本校に対しご厚情賜りますようお願いいたします。

着任以来、高松生を見て一番に感じていることは、「真面目だなあ」ということです。私自身は昭和六十年三月卒のOBですが、私の頃、また平成二十二年度に、他校に籍を置きながら週二日、授業のため本校に来ておりましたがその時に比べても、全体に真面目におとなしくなったなあというのが率直な感想です。自分の頃に比べると生徒数も減りましたが、コロナ禍を過ぎてどの学校でも同様のことを言っているようですが、それにしても「いい子」が多いように感じます。「いい子」の何が問題なのだ、いいことじゃないかとお叱りを受けるかもしれませんが、私の中で高松生は「やんちゃ」で「破天荒」で程よく「ふざけた」存在なのです。その上で、目的を見つけたときにはパワー全開で挑む。失敗してもへこたれず再び挑戦する、そんな図太さが高松生の強みではないかと思ひがあります。

お願いいたします。
最後になりましたが、会員皆様の益々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。

近年、レジリエンスという言葉聞く機会が増えました。「回復力」のことだそうです。ともすれば周囲の大人たちが大事に子どもを育て、何か子どもがするときは転ばぬ先の杖よろしく、障害物をすべて排除した上でやらせる、あるいは失敗する可能性があることは最初からやらせない、そういった風潮が本校だけではなく、社会全体に浸透しているように感じます。結果、真面目でいい子だが、打たれ弱い、そんな若者が増えたと嘆くけれど、原因は学校を含め、社会全体の子どもへの接し方にあるように思います。

まずは、学校行事や部活動を含め、多様な体験の場を作ること、そこでの生徒たちの主体的かつ真剣な取り組みを見守ること、成功しても失敗しても生徒自らがその原因を考え、次の挑戦につなげる態度を育てること。そうすれば、自分の進路を切り拓くための挑戦を恐れない生徒を育てることができるのではないかと考えています。玉翠会員の先輩方にご協力をお願いすることもあろうかと思ひますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、玉翠会の益々のご盛会並びに会員各位の今後のご健勝をお祈りし、あわせて本校への変わらぬご厚情を賜りますようお願いを申し上げます、挨拶といたします。

玉 翠 会 役 員

本 部

(会 長)	間島 賢治
(副 会 長)	池田 恵子
(副 会 長)	佐藤 哲也
(副 会 長)	佐藤 今日子
(副 会 長)	加藤 宏一郎



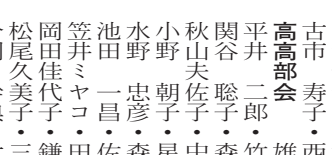
間島 会長



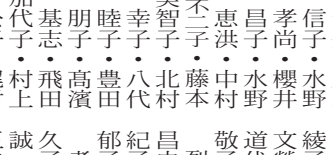
池田 副会長



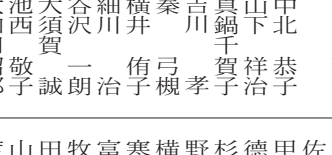
佐藤 副会長



加藤 副会長



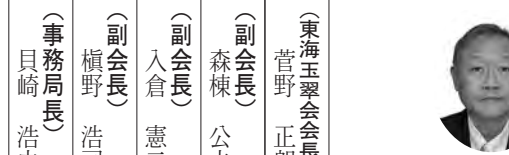
市原 副会長



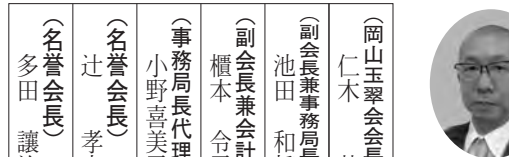
千切谷 副会長

支 部

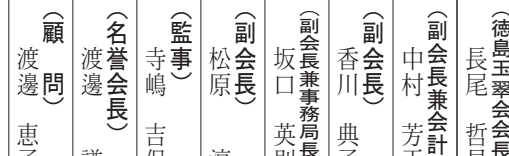
(東京玉翠会会長)	渡辺 修
(副 会 長)	三崎屋義正
(副 会 長)	橋詰 信子
(副 会 長)	小島 豊子
(副 会 長)	土居 範行
(副 会 長)	淵崎 正弘
(事務局長)	藤田 哲典



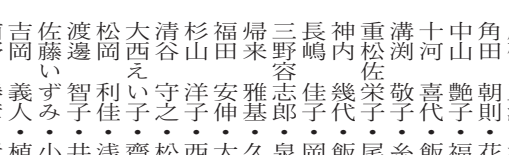
佐藤 副会長



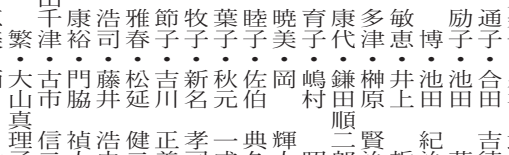
荒木 副会長



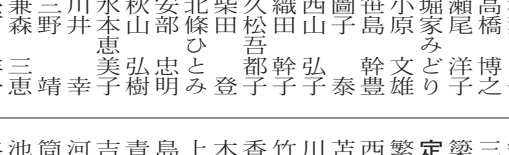
市原 副会長



千切谷 副会長



市原 副会長



千切谷 副会長

晩翠部会

理事 脇 和子・安達恵美子・谷本 文子

高部会

理事 中村 秀明・天雲 俊夫・勝丸 千晶

監事 今澤 暉子・大塚 裕康・吉田 晃・前谷 亮三
理事 白井 治・遠藤 忠知・谷森 勉・石原 英輝

真鍋 武紀・豊田 章二・徳永 孝明・山内 康生
森田 紘一・村井 恵子・吉岡 哲朗・中山 隆司
松山千恵子・明石 陽子・上野 準一・太田 賀久
中 博史・小島 英夫・藤川 宏樹・土居 譲治
石田 謙作・中村谷百則・細谷 芳久・佐々木 祥二
関谷 利裕・亀井 正好・小早川 龍司・松本 寿
森下 貴史・稲田 耕一・吉田 了・増田 晋一・井上 菜々子
別宮 聖仁・久枝 太・兼近由賀里・藤川 忠克
川西 章弘・串上 えみ・福家 孝一・常谷 成
森川 輝男・河端 豊・毛利 成一

代 議 員 名 簿

晩翠部会 笠井 愛榮・熊野 弥生・荒木 聡子
古市 寿子・西尾 信子・水野 綾子
高部会 高部 孝尚・櫻井 文榮・中北 恭子
平井 二郎・竹内 昌子・水野 道代・山下 祥治
関谷 聡子・森 恵洪・中村 敬子・真鍋 千賀子
秋山 夫佐子・中澤 不二子・藤本 烈・吉川 孝
小野 朝子・星川 美智子・北村 昌史・秦 弓楓
水野 忠彦・森田 幸子・八代 紀子・横井 侑子
池田 一昌・佐竹 睦子・豊田 郁子・細川 治
笠井 雅子・田井 朋子・高濱 孝・谷沢 一朗
岡田 佳代子・鎌田 基志・飛田 久子・大須賀 誠
松尾 久美子・三宅 加代子・村上 誠一・池西 敬
今岡 幹典・大橋 公子・梶村 正俊・大和 昭邦
尾崎 正澄・濱本 貴美子・泉谷 武信・稲葉 昌子
角田 朝則・花岡 通子・谷田 吉徳・高橋 博之
中山 艶子・福井 励子・池田 紀治・堀家 多
十河 喜代・飯田 博・池田 哲・小原 文雄
溝崎 敬子・糸瀬 敏恵・井上 賢治・笹島 幹豊
重松 栄子・尾形 多津・榊原 順二・岡 泰
神内 幾代・飯間 康代・鎌田 順二・岡 泰
長嶋 佳子・岡田 育子・嶋村 昭・西山 弘子
三野 志郎・泉 睦美・岡 輝人・織田 幹子
帰来 雅基・久保 睦子・佐伯 典久・久松 吾都子
福田 安伸・大西 葉子・秋元 一成・柴田 登
杉山 洋子・西岡 牧子・新名 孝子・北條 ひとみ
清谷 守之・松下 節子・吉川 健二・秋山 弘樹
松岡 利佳・浅野 浩司・松井 浩史・水本 恵美子
渡邊 智子・井本 康裕・門脇 慎人・川井 幸
佐藤 義人・植松 繁・古市 信二・三野 靖
吉岡 義人・近藤 恵美・西 毅・松下 洋一
前野 勝彦・加地 美智子・松井 勝也・和田 朝子
三木 重昌・石原 美保・杉本 勝利・山下 久美
山口 太郎・石原 美保・杉本 勝利・山下 久美
鳥養 智子・濱崎 直哉・松久 賢一・川人 香織
森下 江美子・入門 美穂・安田 敏男・神内 克知
西口 潤・松岡 健司・立花 修・山下 晶子
吉川 明人・有友 明美・嶋 宏美・山上 佳樹
高木 大輔・真鍋 康正・三原 洋子・太田 加麻里
天野 雄一・中村 崇史・田中 里佳・宮武 伸宇
多田 崇・高橋 裕美・松岡 敬三・松岡 秀樹
片山 進亮・佐藤 純・石原 ゆかり・齋藤 直樹
常谷 紗己・森岡 純・石原 ゆかり・齋藤 直樹

向井 健二・吉田 絵美・金倉 慶忠・千葉 一孝
田村 祐一・今井 淳一・山下 正豊・陶山 真樹
磯峰 唯一・小林 俊博・笹島 正樹・川口 祐貴子
永藤 哲人・山田 佳明・横井 健二・井上 純作
佐藤 康平・鴨谷 真梨子・辻 暁里・七條 智紀
甲 文平・中村 菜摘・川田 拓弥・黒部 紗英子
徳永 文子・向井 健人・畑 京香・木下 拓望
杉村 眞子・向井 健人・畑 京香・木下 拓望
野口 愛心・太田 歩美・大内 一慶・香西 希湖
横井 涼亮・本田 光起・桐石 奈月・新名 彩音
寒川 大成・青野 晴日・西本 真梨・濱岡 千尋
富永 直樹・大西 陽菜・桐谷 陽菜・新原 広隆
牧村 美柚・足立 陽菜・桐谷 陽菜・新原 広隆
山口 翔人・飯 遼太郎・戸田 優音・廣瀬 心笑
田村 翔人・飯 遼太郎・戸田 優音・廣瀬 心笑
渡邊 翔人・飯 遼太郎・戸田 優音・廣瀬 心笑
安川 結彩・瓜生 健太・大野 楓華・黒田 陽太
三谷 将一・祖父江 陽 長谷 晴喜・藤代 陽太
定通部会 藤澤 康良・野中 日勝・岡田 久
繁光 研・大塚 悦治・川下 幸夫・中山 敏弘
西内 和子・住吉 榮司・松本 誠・田中 昌弘
苦澤 昭一・田淵 薫・大川 規人・横井 美里
川口 光子・野田 美佐子・横井 規人・横井 美里
竹下 紀子・乙武 祥子・陶山 規人・横井 美里
香西 悦子・山崎 睦生・川崎 充大・正見 昭仁
木野 志保・松永 豊子・亀井 啓三・徳田 亮
上村 真二・沖田 フサエ・公文 陵二・細井 慶子
青木 龍・武田 榮子・北村 成子・池内 一興
吉岡 大輔・泉川 祐理子・窪田 英二・後藤 敏子
河田 晃典・上田 辰也・白石 雄司・渡邊 裕子
筒井 昭・西 辰也・白石 雄司・渡邊 裕子
池田 周・横田 泰啓・植村 ちひろ・松川 須美
谷口 絢香・藤澤 理絵・山田 雄二・大西 隆太
溝崎 武範・久保 依子・中田 雄太・水谷 未彩
山田 友哉・土居 春美・宮脇 秀人・山本 あやめ子
窪田 美保・白井 余島・彩華・近藤 美菜・岩田 悠登
橋本 幸一・余島 彩華・近藤 美菜・岩田 悠登
牧井 幸一・余島 彩華・近藤 美菜・岩田 悠登
北原 麻由・橋 良光・近藤 美菜・岩田 悠登
山口 眞代・岩崎 瑛士・溝口 賢信・岩田 悠登
平田 陽輝・藤沢 和弥・前川 舜之介・安並 沙南
太田 優芽・神原 周隆・伊賀 匡一・五嶋 碧斗
宮地 杏奈

令和8年度 玉翠会事業計画

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	15	月	会計監査	5 階会議室
4	21	火	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
5	23	土	東海玉翠会総会	東京第一ホテル錦
5	30	土	玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
			玉翠会 理事会・代議員会	5 階玉翠ホール
			玉翠会 懇親会	GRILL&WINE Regalo (レガロ)
6	6	土	東京玉翠会総会	東京プリンスホテル
6	20	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス徳島
7	7	火	玉翠会報 第47号発行	
9	5・6	土・日	文化祭 (玉翠庵お休み処：H9卒主管)	高松高校
10	17	土	関西玉翠会総会	アートホテル大阪ベイタワー
10	23	金	玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会 S57卒 菅 浩伸氏 (九州大学比較社会文化研究院浅海底フロンティア研究センター長)	
11	15	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2			玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
3	5	金	卒業式	体育館

令和7年度 玉翠会事業報告

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	10	木	会計監査	5 階会議室
4	22	火	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
5	17	土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
5	24	土	玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
			玉翠会 理事会・代議員会	5 階玉翠ホール
			玉翠会 懇親会	みくりや倶楽部
6	7	土	東京玉翠会総会	東京プリンスホテル 「鳳凰の間+マグリリアホール」
6	21	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス徳島
7	7	月	玉翠会報 第46号発行	
9	6・7	土・日	文化祭 (玉翠庵お休み処：H8卒主管)	高松高校
10	11	土	関西玉翠会総会	アートホテル大阪ベイタワー
11	4	火	玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会 H3卒 谷本 浩志氏 (国立研究開発法人国立環境研究所地球システム領域 領域長)	体育館
11	16	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2	12	木	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
3	6	金	卒業式	体育館

令和8年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	6,000,000
玉 翠 会 入 会 金	890,400
受 取 利 息	20,000
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	6,910,400

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	4,330,000
支 部 運 営 費	1,100,000
卒 業 生 記 念 品 料	140,000
創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	600,000
予 備 費	200,000
支 出 の 部 合 計	6,370,000
当年度収支差額	540,400
前年度収支差額	30,519,977
次年度収支差額	31,060,377

令和7年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	6,894,138
玉 翠 会 入 会 金	854,000
受 取 利 息	24,386
雑 収 入	45,150
収 入 の 部 合 計	7,817,674

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	3,879,461
支 部 運 営 費	708,560
卒 業 生 記 念 品 料	132,005
退職積立預金繰入支出	200,000
創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	2,000,000
予 備 費	0
支 出 の 部 合 計	6,920,026
当年度収支差額	897,648
前年度収支差額	29,622,329
次年度収支差額	30,519,977

令和8年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	600,000
受 取 利 息	10,000
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	610,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	1,200,000
教 育 活 動 費	100,000
支 払 手 数 料	6,000
支 出 の 部 合 計	1,306,000
当年度収支差額	△ 696,000
前年度収支差額	29,369,906
次年度収支差額	28,673,906

令和7年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000
受 取 利 息	22,645
雑 収 入	105,771
収 入 の 部 合 計	2,128,416

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	1,320,000
教 育 活 動 費	0
支 払 手 数 料	5,940
支 出 の 部 合 計	1,325,940
当年度収支差額	802,476
前年度収支差額	28,567,430
次年度収支差額	29,369,906

令和8年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	3,000
収 入 の 部 合 計	3,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	0
支 払 手 数 料	550
支 出 の 部 合 計	550
当年度収支差額	2,450
前年度収支差額	6,013,048
次年度収支差額	6,015,498

令和7年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	3,431
収 入 の 部 合 計	3,431

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	0
支 払 手 数 料	550
支 出 の 部 合 計	550
当年度収支差額	2,881
前年度収支差額	6,010,167
次年度収支差額	6,013,048

令和八年度 理事会・代議員会開催される

- ・ 森川輝男副会長が退任。
- ・ 新たに荒木隆氏（昭和六十二年卒）、千切谷耕一郎氏（平成二年卒）、市原武氏（平成七年卒）の三名が副会長に就任。

理事会・代議員会は五月三十日（土）午後二時半より高松高校五階ホールにて百五名の出席をもって開かれた。



間島会長挨拶

開会に先立ち、昨年ご逝去された百十名の方々のご冥福をお祈りし、全員で静かに黙祷を捧げた。

今年度は川西章弘理事（平成六年卒）の司会により進められた。

初めに間島会長からの挨拶があった。その中で交流の場の機会を増やすため、来年度から毎年高松でも懇親会を開催する計画であることが告知された。また、高等学校の授業料が無償化されたが、授業料以外でも教育にかかる費用を必要としている生徒がいるので、引き続き、奨学金の給付を行うことや、高松地域に新たな県立中高一貫校を設置する方針が出たことについて、今後注視していきたいとお話があった。最後に玉翠会LINE公式アカウントを正式に運用することになったので是非QRコードを読み込んでいただき、登録をお願いしたい旨の周知があった。



吉田校長挨拶

続いて四月に着任した吉田智校長から挨拶があった。学校の現状としては、全日制がクラス四十人の七クラスが三年生、それに加え、定時制が十六名、通信制が百七十一名で、あわせて千名ほどの規模の学校であり、少子化の影響を受けているが、県内では最大規模の公立高校である。在学中、教師として関わった時、そして現在と高生を見てき本質的なところが変わっていないと感じる。

次に東京玉翠会より瀨崎正弘副会長、東海玉翠会より菅野正朗会長、関西玉翠会より高木幹夫副会長、岡山玉翠会より池田和真副会長兼事務局長、徳島玉翠会より坂口英則副会長兼事務局長にご挨拶いただいた。今年度も五月二十三日に行われた東海玉翠会総会を始めとした各地区での総会に、是非ご参加いただきたいとのことであった。

続いて四月に着任した吉田智校長から挨拶があった。学校の現状としては、全日制がクラス四十人の七クラスが三年生、それに加え、定時制が十六名、通信制が百七十一名で、あわせて千名ほどの規模の学校であり、少子化の影響を受けているが、県内では最大規模の公立高校である。在学中、教師として関わった時、そして現在と高生を見てき本質的なところが変わっていないと感じる。

高生生の一番の強みは骨太なところ。生徒たちは勉強だけでなく部活動も行事も生徒会活動も一生懸命する。そして受験にも邁進するバイタリティーに溢れている。また、今の高校生は香川県や高校が大好きである。県外に進学したり就職したりする生徒が多いが、香川県や母校が好きだという気持ちは育てていきたいし、果ては母校に貢献できる人間になれるようにということは今後伝えていきたい。それが玉翠会の活性化や若返りになったらと考えているとのことであった。

議事は会則に従い、間島会長の議長のもと進められた。事務局より前年度事業報告、玉翠会会計等収支決算報告、昨年度文化祭で玉翠庵を運営した福家孝一代議員（平成八年卒）より事業報告と収支決算報告がなされた。その後、天雲俊夫監事より監査報告があり、事業、会計ともに拍手で承認された。（3P参照）令和八年度玉翠会役員については、晩翠部の安達恵美子監事に代わって勝丸千晶氏が

監事に、令和七年度をもって退任される森川輝男副会長と、昨年度文化祭で玉翠庵を担当した平成八年卒の福家孝一氏を含む六名が新理事に選任された。その後臨時役員会が開催され、役員改選については、副会長の森川輝男氏が退任され、新たに荒木隆氏、千切谷耕一郎氏、市原武氏が副会長に就任することが承認された。

続いて、今年度事業計画案、玉翠会会計等収支予算案も併せて承認された。

玉翠会事務局からは、玉翠会公式LINEの正式運用についての説明があった。また、ファミペイ請求書支払い、auPAYと楽天ペイの請求書払いでも会費の振り込みが可能になることの連絡があった。そして佐藤哲也副会長から令和九年五月二十九日（土）に高松懇親会が開催されることの連絡があった。最後に市原武副会長の閉会の言葉で理事会・代議員会を終了した。その後、場所をレガロに移し、懇親会が和やかに開催された。

香川県立高松高等学校玉翠会 2025 年度文化祭事業 事業報告

1. 事業名
2025年高松高校文化祭における御接待処「玉翠庵」の設営と運営
2. 事業目的
① 高松高校文化祭において玉翠会主催事業を開催することで現役高生の諸活動に対する玉翠会員の理解を広める。
② 高松高校文化祭への学外からの来訪者に飲料のおもてなしをする。
③ 過去の文化祭の資料をパネル展示することにより高松高校の歴史を内外に紹介する。
3. 事業担当者
委員長 福家孝一（H8年）
委員 【H8年】湯岡志保、太田加麻里、岡野剛士、岡田直子、壁谷真紀子、左達正敏、信濃優子、白石留美子、十川あや、島居亜紀、松岡浩司、真鍋敬
【H7年】高木大輔 【H9年】高橋史、宮武伸宇

4. 実施日時
令和7年9月6日（土） 9 時 00 分～15 時 00 分
令和7年9月7日（日） 9 時 00 分～15 時 00 分
5. 実施場所
香川県立高松高等学校 2 階南西 206 教室

6. 来場者数
玉翠庵 2 日間の来場者数合計 1, 216 名（前回 1,041 名）
【内 訳】

	9～10 時	10～11 時	11～12 時	12～13 時	13～14 時	14～15 時
6 日（土）	29	74	41	59	62	91
7 日（日）	105	209	166	120	162	98

（参考）文化祭来場者数（パンフレット配布数）

1 日（日）635 冊 2 日（土）1, 171 冊 合計 1, 806 冊（来場者数ではありません）

7. 決算報告 別添のとおり
8. 所 見
今年度の玉翠庵のテーマは、「Simple is Best」。労力を削減し、極力無駄を削ぎ落とした展示、環境に配慮しゴミを削減しつつ、サービスの質は落とさず、予算内に収めることを心掛けた。

バックヤードを室外に設け、室内をスッキリとさせ、壁面を広く活用するとともに、S61 卒土居先輩に協力いただき、高新旧正門柱に着目した新たな展示を展開した。給茶については、ウォーターサーバー「アクアクララ」を設置し繁忙期にもセルフサービスで対応しつつ、ペットボトルのゴミを削減に努めた。また、お菓子のサービスは、特に次代の高生に？に好評であった。

来場者数は前回より増加し、80歳を超えるご年配から小中学生まで、さまざまな世代の方が来場され、懐かしそうに展示物を見たり、顔出しパネルで写真を撮ったりと、楽しんでいただけた。運営面では、H8 卒業生が集まり、前日の準備から当日の運営、撤収まで協力して行い、卒業以来 30 年ぶりの高生文化祭を満喫することができた。

最後に、様々な面でサポートいただいた玉翠会事務局にこの場をお借りして御礼申し上げます。

以上

令和7年度 先輩講演会

「地球環境問題を解決するためのサイエンス」

谷 本 浩 志 氏
(平成三年卒)

十一月四日、玉翠グローバルアカデミー(GGA、旧先輩講演会)が本校体育館にて行われた。今回は国立環境研究所地球システム領域長を務められている、谷本浩志氏にお越しいただき、「地球環境問題を解決するためのサイエンス」という演題でご講演いただいた。

谷本氏は、「地球環境の研究をしているが、地球のことを知るためだけでなく、環境問題を解決したいと

いう気持ちをもってやっている」「二酸化炭素排出量を示しているこのマップで、真っ赤になっているところをゆくゆくは真っ白にしたいといけない。それが我々に課された環境問題の一つである」と自らの研究の志を話してくださった。

そして、研究者の役割として、研究を実際の政策に繋げていくという視点も語ってくださった。「科学を政策に生かすためには、国内はもちろん、国際的に一緒にやっていかないとけない」「地球規模の問題、特に現在の気候変動の問題はすぐく解決が難しい。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)という場で、今、世界各国の研究者が何百人と集まり、どれだけ正確に気候変動が捉えられるかを研究して成果を集約し

退任のご挨拶



思い出深い七年間

森 川 輝 男
(定時制 昭和四十一年卒)

先ずは、玉翠会会員の皆様、学校関係者の皆様に感謝の念で一杯であります。

就任時は役職上分らないところが幾多ありましたが、適切なご助言をいただき、何かとお世話になりましたことが思い出されます。

そのような中、東京玉翠会や関西玉翠会、岡山玉翠会、徳島玉翠会の各総会に出席させていただき、それぞれの総会の特色を拝見させていただきました。東京の「うどん」での乾杯や徳島での「特別講演」などは

大変印象深いものでした。

特に、私にとっては昨年、徳島での特別講演「写真撮影の楽しみ方」を初めてパワーポイントにて講演させていただきましたことは、青天の霹靂でした。しかし、役員の皆様に色々とサポートしていただき、時間通りの講演を終え、出席者の皆様からは懐かしい映像も有りとお親しんでいただけことが唯一の安堵でした。

何と言っても、令和六年八月十日の二三〇周年記念祝賀会の盛会さは、出席者の皆さんを青春の時代に回帰

させ、人生一〇〇年時代と言われる時を生きる人たちの意気に思えるものでした。それにしても、これまでの思い出深い七年間誠にありがとうございました。

末筆となりましたが、玉翠会の益々のご発展と会員皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして退任のご挨拶とさせていただきます。



「幻想の景」
サンポート高松(せとしるべ)

プロ野球界のレジェンド
三原 脩 氏(昭和4年卒)の功績を
記した「拓本」が高松高校へ

令和九年に向けた高松市中央公園のリニューアル工事で、三原脩氏(高商卒)・水原茂氏(高商卒)二人の銅像を移動するため、台座が取り壊されることになりました。

令和八年一月、台座に刻まれた石碑の文字を墨で写し取り「拓本」となって、名前の石板とともに野球部OBから高松高校へ。現在、五階資料室に展示されています。

ている。このような科学者の理解があって、温暖化は緊急の問題であることがわかってきた。解決に向けて、最近で一番大きな出来事は、二〇一六年のパリ協定であった。「パリ協定までは、先進国が各国に向けて削減量を提案していたが、できる国は削減しようとした一方、後ろ向きな国は拒否した。しかし、パリ協定は、各国が自ら削減目標を決めたため、途上国を含むすべての国が参加できた。さらに政治家のリーダーシップで、削減目標の前倒しを決定した」と、環境問題への国際的な対策の動きを説明してくださった。また、「環境対策はやればできるが、その一方でなかなかやれないのが現実。

技術的なブレイクスルーが大事であり、さらにはその技術を普及させることが大切である」と日本の現状についても話していただいた。

最後に、「人生は選択の連続。その時その時でひとつしか選べないし、思ったようにならないこともある。しかし、選んだ道で頑張りが続けた人には道は開けます。頑張ることの大事さは一生ものなので、高校生の今を精一杯頑張ってください」と、高生へのエールで講演を終えられた。

谷本氏は、科学者の社会貢献の一端を語ってくださった。文系・理系では分けられない社会像を学ぶことができたと思う。

支部会だより

東京玉翠会



ホームページ



東京玉翠会第四十三回総会は、昨年六月七日、東京プリンスホテル「鳳凰の間」にて、「**高高百景**」をテーマに開催いたしました。約六〇〇名の皆さまにご参加いただき、会場は大いに盛り上がりしました。企画では、現在の校舎や高松の町並み、現役生の生活風景などをスナップショットで紹介し、移り変わる母校の姿を感じていただきました。「自分の頃はこんな校舎だった」「学食のあのメニューが懐かしい」「部活帰りに立ち寄ったうどん屋の味は格別だった」——そんな思い出話が会場のあちこちで広がり、それぞれの胸にある母校の風景を呼び覚ます時間となりました。また、よりリアルな「今」を知るために現役の高松高校の生徒の皆さんにアンケートへのご協力をお願いし、その結果も共有しました。当時

は存在しなかった施設や新しいうどん店の話題には「えっ、それ何？」と驚きの声が上がる一方で、今も変わらない共通点に触れ、「やはり高松生はそうでなくっちゃ！」と懐かしさを新たにする場面も見られました。改めまして、アンケートにご協力いただいた八一九名の生徒・先生の皆さまに、心より御礼申し上げます。

そして本年も昨年同様、東京プリンスホテル「鳳凰の間」にて、「**誇動**—**伝統・矜持・革新**」をテーマに第四十四回総会を開催し、五〇〇名以上の皆さまにご参加いただきました。「**誇動**」は「誇りを持って動く」という意味を込めた造語であり、「先輩方が築いてくださった伝統への感謝」「受け継いだものを自身の誇りへと昇華させる矜持」「未来に向けてより良く発展させる革新」という三つの想いを込めています。企画として、テーマに沿って昭和三四年卒から令和二年卒まで、二十五名の皆さまにコラムをご執筆いただきました。当日は、コラム内で繰り返し登場する言葉をもとに、卒業生が感じる高高的「誇り」とは



東京玉翠会 第44回総会

何か、その傾向を分析した結果を会場で上映しました。「確かにそうかもしれない」「自分も同じだ」と、各々が思い出とともに青春を振り返り、濃密な高高的の三年間に想いを馳せながら、自身の誇りを再確認する時間となりました。会場には今年もさぬきうどんが登場し、長い行列ができていたのが印象的でした。フィナーレでは毎年恒例、全員が肩を組み「たかこうーたかこうー」と応援歌を歌い、会場が一体となりました。さらに今年は、県女の校歌斉唱に世界のプリマドンナ・林康子さんが登場し、会場は大いに盛り上がりしました。同期とともに運営から携わることで、故郷・

東海玉翠会



メールアドレス



会長 菅野 正朗

(昭和五十年卒)

二〇二六年五月二十三日開催の東海玉翠会総会において会長に選出されました菅野です。入倉前会長と同様、どうぞよろしくお願いいたします。

今回の総会・懇親会には、ご来賓五名、会員二十八名、計三十三名に参加いただきました。昨年は会員の参加が過去最少だったので、今年は七名増えたことに安堵しています。毎年参加されている会員からの声かけもあって二名の初参加があったことも嬉しく思っています。そうやって少しずつでも輪が広がれば会の存続に繋がると考えています。

吉田校長や間島会長には母校や玉翠会について、普段はなかなか聞くことができない状

香川を離れた東京の地で同窓生と再会できる喜びを改めて感じるとともに、さまざまな世代の高高的が集う「同窓会」を開催する意義を実感いたしました。会を通して、東京で香川の良さ・母校の良さを語り合い、各人が自らの「誇り」を再認識することで、参加者の皆さまの日々の生活に少しでも刺激を添えられれば幸いです。そして、それがひいては香川の発展につながることを願っております。

今後とも東京玉翠会をよろしくお願い申し上げます。

第四十四回幹事団代表

八尾 社頭 (平成十三年卒)

況をお話いただき興味深く拝聴いたしました。また、間島会長からは玉翠会LINE公式アカウント開設をPRいただき、アカウントQRコードのカードもいただきましたので、その場で友だち登録をお願いしていました。私からは「三〇年記念誌(デジタルブック)」のDLサイトと会費納入サイトのQRコードを印刷して参加者に配付させていただきました。恒例となっているクイズ大会では讃岐弁五択問題を出題しました。十問中八問正解者が六名もいて簡単過ぎたかと少し反省しています。

懇親会後は、名古屋一番の夜の繁華街である錦三丁目のお店へご来賓と幹事で繰り出すのが恒例ですが、今年は東京玉翠会・渡辺会長、関西玉翠会・森副会長、徳島玉翠会・長尾会長にもご一緒いただき、二次会でも楽しいひとときを過ごすことができました。

最後になりましたが、全国の玉翠会会員の皆様のおますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。



ホームページ



関西在住の卒業生でつくる関西玉翠会（樋口順一会長）の第三十二回総会・懇親会が、昨年十月十一日、大阪市内のホテルで開かれました。

間島賢治玉翠会長、各地の玉翠会役員、池田豊人香川県知事、中筋功雄校長先生（当時）ら九人のご来賓をはじめ、約三三〇人が参加しました。

関西玉翠会では、毎年、五〇歳になる卒業生が幹事を務める伝統があり、今回は、平成六年卒業生が幹事を担当しました。平成六年卒は、新校舎（現校舎）が竣工した平成三年

に入学し、新校舎で三年間学んだ最初の高校生でした。

そこで、テーマを「シン・コウシャ」新島の垣根を超えた新たな関西玉翠会へとしました。同窓会では、昭和の旧校舎を懐かしむ卒業生が多い中、新校舎と呼ばれた現校舎も築三〇年以上が経過し、平成六年卒をはじめ旧校舎を知らない卒業生の存在感も増えています。そこで、校舎の思い出を超えて、高卒の絆で先輩方とつながりたいとの幹事団の思いをテーマに込めました。

総会では、間島玉翠会長や池田知事からご挨拶を賜り、樋口会長から中筋校長先生に、母校への寄付金が贈呈されました。

お待ちかねの懇親会は、中筋校長先生の乾杯のご発声で和やかに開演しました。

会場を盛り上げたのは、平成六年卒の多様な面々。関西を中心にDJ（ディスクジョッキー）として活躍するREI（日比野玲）さんが、懇親会での音楽の構成を担当し、各世代が楽しめるBGMを会場に届けてくれました。また香川県を中心にオペラ歌手として活動する越智慎吾さんは、ピアニスト小嶋桂さん（平成四年卒）やバイオリニスト河西真緒さん（平成二十六年卒）を引き連れて、会場の空気を支配する圧巻の歌声を披露。高卒の冬の風物詩となったベイトゥエンの第九で締めくくると、参加者からは大きな拍手と「ブラボー」という声飛び交いました。



プラスバンドと応援団のOBの皆さまも各地から駆けつけ、応援歌や扇の舞、校歌斉唱で会場を一つにしていたきました。

最後に、参加者全員で集合写真を撮影して二時間ほどの楽しい時間はあっという間に終了。

参加者の皆様は学年ごとの二次会に向けて、大阪の街へ繰り出していきました。

お土産は、オリジナルトートバッグと、高通信制の生徒が企業と協力して作り上げた校章入りの和三盆で、皆様に非常に好評でした。



ホームページ



会長 仁木 壯

（昭和四十六年卒）

岡山玉翠会では、毎年十一月に総会・懇親会を開催しています。岡山という名は付いていますが、岡山県だけでなく島根県や鳥取県に在住・勤務されている方も会則上会員としていただきますので、関係の皆様のご参加を心よりお待ちしております。岡山玉翠会のHPにもお待ちしております。総会・懇親会のご案内を掲載しておりますが、事務局にご連絡いただければ、ご案内状をお送りさせていただきます。

それぞれ違う時代を生きた卒業生が、世代を超えて年に一回、大阪の地に集う関西玉翠会総会・懇親会。今年は平成七年卒の幹事で十月十七日に昨年と同じアートホテル大阪ベイトゥーで開かれます。関西以外からのご参加も大歓迎ですので、是非、ご参集ください。

最後に、関西玉翠会の日常の活動や、総会・懇親会の準備状況などをインスタグラムで楽しく発信しています。本紙に掲載しているQRコードからフォローしていただき、皆様に応援していただければ嬉しいです。

二〇二五年度代表幹事 中井宏二



@KANSAI_GYOKUSUIKAI

昨年の総会では、前岡山大学学長・香川県病院事業管理者の榎野博史先生に「人と地球の健康」と題して記念講演をいただきましたが、平成の卒業の方も八名の参加がありました。本年十一月十五日（日）の総会では、卒業生による記念講演を計画していますので、楽しみにしてご参加いただければと思います。

九月には「岡山玉翠会だより」を発行し、会員の皆様の寄稿により紙面を通じた交流も図っております。事務局にご連絡いただければ、郵送又はメールでお送りさせていただきます。他にインスタグラムによる情報発信をし、LINEも開設していますので、その輪に加わっていただき、同窓生のホットな情報を共有し、世代を超えて友情と絆を深めて行きましょう。



Instagram



第32回徳島玉翠会総会・懇親会 令和7年6月21日 於：ザ・グランドパレス



会長 長尾 哲見
(昭和四十四年卒)



ホームページ

玉翠会の皆様にはご清栄の事と存じます。全国で玉翠会の会員の皆様が各界の分野でご活躍されている事に敬意を表します。

今年は年明けから国内では高市総理による奇襲解散・総選挙・自民党圧勝、物価高騰は止まらず、海外ではアメリカのトランプ大統領による国際法無視のベネズエラ・イランへの奇襲攻撃とホルムズ海峡封鎖による世界的なエネルギー危機で、国内外とも波乱の年になりました。一日も早い停戦・和平が実現して世界に平和と安定が訪れる事を祈るばかりです。

さて、徳島支部は母校が設立一〇〇周年に併せて三十三年前に東京、関西、岡山に次いで四番目の支部として発足しました。少ない人数ですが毎年、本部の会長と母校の校長等も参加して下さり母校の近況を聞かせてもらい、家族的な雰囲気でも会員も毎年楽しみに参加しています。今年は六月二十日(土)午後一時に徳島グラウンドパレスで第三十三回総会を開催致します。現在鋭意、役員会で準備を進めており、会報誌の編集や恒例の記念講演や一分間スピーチやクイズで盛り上げたいと企画しております。

今SNS時代にあつて、職域や立場を超えて対面で人が集まり、飲食を共にして、近況や体験を聞き、校歌を共に歌い、時を共有する機会には現代において貴重な場と思います。最後に全国の玉翠会の会員皆様様の益々のご健勝とご活躍を祈念しております。

食堂券売機が新札に対応しました

今年度、高松高校の食堂券売機が新札に対応いたしました。

この券売機は令和五年度に、関西玉翠会の皆さまからのご寄付で導入したものです。今回もそのご支援をいただき、改修を行うことができました。

新札でも安心して利用できるように、生徒たちの毎日の食堂利用がよりスムーズになっています。学校生活を支える設備が、皆さまの温かいお気持ちによって整えられていることに、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

ご寄付ありがとうございました

〇 高高 Facebook 懇親会様より
玉翠会奨学金として活用させていただきます。



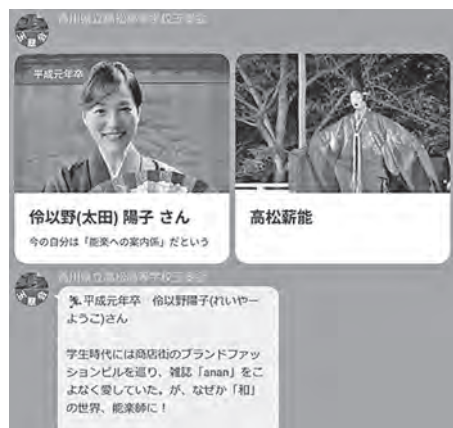
友だち募集中

玉翠会 LINE 公式アカウントこんなメッセージを配信しています！

会員の皆さまへのお知らせや、下記のようなメッセージを不定期で配信しています。

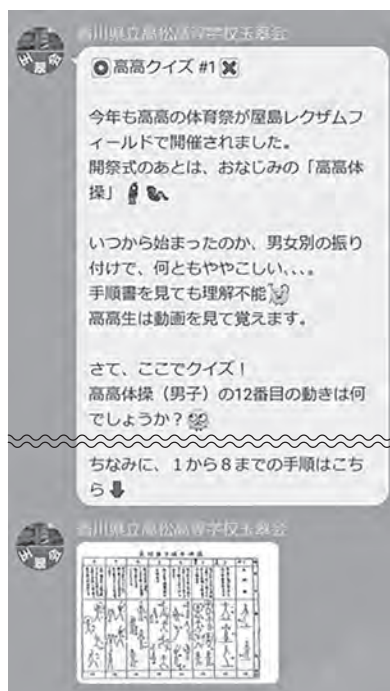
■卒業生をリレーで紹介

卒業生の“いま”をゆるっと紹介。
次に紹介する卒業生を、リレー形式で推薦してもらっています。



■高高クイズ

第一回配信は、高高体操について。



定時制だより

ご挨拶

教頭 中澤 幸子

令和八年度は、新入生三名を迎えて、生徒十七名（男子七名、女子十名）、職員七名でスタートしました。

生徒は、卒業後の進路を見出そうと、夕方からの授業に真剣に取り組んでいます。私達職員は生徒の個性や希望を尊重しながら、内容を精選し、基礎・基本を大切にしたい「わかる授業」を第一に、と考えています。また、学校行事にも工夫や改善を加えて、生徒会を中心に、学校生活の活性化を図っています。始業前や休み時間も生徒たちは落ち着いて穏やかに過ごしています。今後とも生徒と教師のふれあいの場を大切にし、生徒一人ひとりの将来を見据えた教育を行います。

以下、本校定時制の主な学校行事を紹介いたします。

○入学式 —男子一名、女子二名—

四月七日（火）、三名の新入生が定時制課程に入学しました。

新入生代表が「強い意欲を持って、校則を守り学習に努め、立派な定時制の生徒となります。」と、澁刺とした声で宣誓を行いました。高校生活への期待と意欲が窺えました。



○新入生研修 —親交を深めた活動—

四月二十四日（金）、学校から歩いて峰山公園へ行きました。

出発直前まで雨が降っていましたが、歩き始める頃には雨もやみ、さわやかな天候の中で登ることができました。山の上で昼食をと

り、展望台では島々の浮かぶ瀬戸内海の景色を満喫しつつ、レクリエーションをしました。短い時間でしたが、笑顔いっぱいの活動となり親交を深める研修となりました。



以下、令和七年度の記録

○県定通総体 —二種目に出場—

六月二十二日（日）、香川県定通総体が開催され、バドミントン競技は個人戦（男女）、卓球競技は個人戦（男）、団体戦（男）に出場しました。嬉しい初戦突破や悔しい敗戦など、さまざまなドラマが生まれた一日でした。強豪選手に完敗してなお「楽しかった」と話す選手の笑顔が印象的でした。



バドミントン競技では安藤さんが女子個人戦で、卓球競技では赤澤さんが男子個人戦でベスト16に入りました。授業が終わって疲れている放課後、毎晩努力してきたその練習の成果を十分に発揮することができました。

○第七十五回文化祭 —定時制2025—

九月六日（土）、七日（日）の二日間、文化祭が開催されました。定時制では「時を超えた夏休み」をテーマに各学年で企画の担当を決め、準備に取り組みしました。一年生はモザイク壁画の制作と窓の装飾、二年生は窓の装飾、三年生はゲーム（手裏剣射的）の制作と作品展示（観月句会、書道）、四年生はゲーム（魚釣り、輪投げ）の制作と「渚」の展示を担当しました。ゆ



とりのあるレイアウトになるよう工夫し、四百人近いお客さんに来ていただきました。全員が力を合わせ、一つのを作り上げるという貴重な経験ができ、充実した文化祭となりました。

○観月句会 —月見と俳句—

十月六日（月）、ちょうど十五夜での開催となりました。天候にも恵まれ、例年以上に多くの句が詠まれました。

保護者や評議員の方にも参加していただき、玉翠会館和室でお茶会を開催しました。和菓子とお茶をいただきながら、俳句の優秀作品が披露され、選ばれた人からは歓声が上がりました。日本の文化を味わいつつ、学年を越えての交流も深めることができました。



- ・ 中秋のまるい月見て深呼吸
- ・ 望月の上でうさぎはもちつきを
- ・ 恋心今の時代は多様性
- ・ ありがとう心を満たせと月が言う

○生活体験発表大会 —自身の成長—

十月十八日（土）、サン

ポートホールで県大会が行われ、本校定時制を代表して四年次生の北原さんが、「わたしの成長、そして夢へ」と題して発表し、優良賞を受賞しました。小学三年生から通っているミュージカルスクールと定時制での経験を通して自分の成長を実感し、その学びを糧にこれから夢に向かって進んでいきたいという思いを朗々と語りました。当日の発表順は一番手で、開始前こそ緊張している様子でしたが、表演台の前に立つと全く緊張を感じさせず、表



情豊かに発表することができました。大勢の人の前で堂々と夢を語る姿は、友人や後輩の心に深く響いたと思います。高校生活を通じての成長が伝わる素晴らしい発表でした。

○校外研修 —苔玉作り体験—

十月三十一日（金）、四

国霊場の札所である根香寺と白峯寺に参拝した後、国分寺コミュニティセンターで苔玉作り体験をしました。あいにくの雨天ではありましたが、事前学習が功を奏し、根香寺での牛鬼探しや万休観音堂参り、白峯寺での七福神や十二支巡りなど、みんな楽しんでいました。



○予餞会 —四年次生をねぎらいました—

二月六日（金）、生徒会が中心となって企画・運営・準備をしました。各学年が催し物を計画し、ゲーム大会を行うなど、予餞会を盛り上げました。楽しい時間で四年次生を送り出すことができました。



○卒業式 —晴れやかな笑顔で—

三月六日（金）、四年次生五名が晴れて卒業しました。卒業式の後、HR教室で保護者の方々が見守るなか、担任の佐々木先生をはじめ、在学中にお世話になった先生方から祝辞をいただき、念願の卒業証書を手に入れました。高校時代の思い出を宝にして活躍してくれることを祈っています。



通信制だより

ご挨拶

教頭 川東芳文

通信制課程では、本年度、新編入生三十五名を迎えて百七十一名で活動しています。

通信制の教育は、自学自習を基本とし、学校から毎月送付されるレポート課題に取り組み、提出して添削指導を受けることが学習の中心となりますが、面接指導（スクーリング）のある日曜日には登校し、授業や学校行事を通して、生徒同士が交流を深めながら、楽しい雰囲気の中で学んでいます。

私たち教職員は、生徒の皆さんが自信をもち、地域社会の一員として貢献できる、自立した人に成長してくれることを願いながら、それぞれのペースで頑張っている生徒一人ひとりをしっかりと支援してまいります。

以下、通信制課程の主な行事を通して、在校生の様子をご紹介します。

○入学式

四月十二日（日）、令和八年度入学式が行われ、一年次生二十六名、二年次編入生五名、三年次編入生三名、特修生一名のあわせて三十五名の入学生を迎えました。

厳かな雰囲気の中、校長の式辞に続き、同窓会の緒方憂子副会長から「一歩一歩の積み重ねは、確実に皆さんの力になっていきます。これからの高校生活が穏やかで、実り多いものとなることを心から願います。」との祝辞をいただき、新編入生一同、新たな学校生活に期待を膨らませていました。

○つどい、夢チャレンジ講座①

五月十日（日）に行われた「つどい」は通信制に新しく入ってきた仲間を歓迎する最初の学校行事です。生徒会主体で企画・運営し、四十一名の生徒が参加しました。最初に、新編入生からの学校生活に関する質問に対し、

生徒会役員が実体験を踏まえたアドバイスを交えながら回答しました。次に、グループ対抗で「ポッチャ」を行いました。真剣な表情で一球を投げるたびに歓声が上がリ、大いに盛り上がりました。さらに、「どこまで迫れる!? ニアピンバトル」と題したクイズ大会を学校や地域にまつわるクイズに出し合いながら挑み、佐深めることができました。

午後は、夢チヤレンジ講座対抗のウォークラリーをから高松駅周辺の範囲で、トをまわり、写真を撮って睦を深めながら、地域の魅でできるよい機会となりました。

次を越えて交流を

座①として、グルー
に行きました。学校
指定されたスポッ
くるものです。親
慮力に気付くことの
た。

以下は令和七年度の記録

○夢チャレンジ講座②

六月一日(日)の夢チャレンジ講座②では、まず丸亀市にある一穂窯で陶芸体験をしました。ほとんどの生徒が初体験でしたが、スタッフの方々に教えてもらいながら、楽しそうにマグカップを制作していました。



グカップは、文化

午後からは、宇多津町で散策をしました。海辺で昼食を食べたり、おしゃれなカフェに行ったり、公園でのんびりしたりと、思い思いに過ごしました。

学校とは違った環境の中で、様々な体験をしたり、地域の人と交流したりすることの楽しさを実感することができました。

○県定通総体

六月二十二日(日)、香川県高等学校定時制通信制課程総合体育大会が開催されました。本校通信制からは、十五名の選手が、バスケット

トボール、バドミントン、卓球、陸上競技、柔道に出場し、熱戦を繰り上げました。バスケットボールは男子団体で優勝し、卓球は男子シングルスで三年次生の木村太紀さんがベスト4に入り、それぞれ全国大会に出場しました。また、柔道女子個人で優勝した二年次生の尾坂優衣さんは、全国大会でも最後まで攻めの姿勢を貫き、見事一勝をおさめることができました。

○校内生活体験発表会

八月三十一日(日)に、全校生徒が五階主翠ホールに集まり、第五十八回校内生徒生活体験発表会が開催されました。各年次から選出された八名の代表者が、学校生活や自分の人生と目標などについて発表しました。どの発表もすばらしい内容で、聴いている者が感銘を受ける発表会となりました。審査の結果、一位に二年次の山田彩葉さん「私の原点」が、二位に三年次の坂本花連さん「通信制に入学して」が、それぞれ選ばれました。山田さんは、代表として香川県予選会で発表し、優良賞を受賞しました。また、坂本さんは、四国地区通信制生徒生活体験発表大会に出場し、三位にあたる全通研会長賞を受賞しました。

○文化祭

九月六日(土)、七日(日)の二日間にわたり、全体テーマ「Timeless tales(時代を越えた永遠の物語)」のもと、全定通合同文化祭が開催されました。通信制の教室展示では、夢チャレンジ講座で学んだ和三盆や陶芸に関する研究報告と、生徒がば



いう堂とコラボして商品企画を行った「高
 高和三盆」の販売を行いました。また、美術
 や書道の授業で制作した作品や有志による絵
 画、音楽、服飾、ゲームなどの展示もあり、
 充実した内容となりました。特に、「高高和三
 盆」は用意していた300箱が完売したほど好評
 でした。今年度も、収益は全額、香川県社会
 福祉協議会に寄付しました。

○体育祭

十月五日（日）、本校体育館で体育祭を開催しました。今年度の体育祭は、例年と異なり、一、四



年次生混合のチームをつくり、優勝目指して戦いました。午前中は開会式の後、スプーンリレー、パン食い競争、ゾンビ鬼ごっこのほか、新種目のキャタピラー競争などを行いました。午後からは、○×クイズや大縄跳び、玉入れ、ドッジボールで熱戦が繰り広げられました。和気あいあいとした雰囲気の中、楽しい一日を過ごすことができました。

○遠足

十一月十六日(日)、生徒・職員六十七名で、岡山県倉敷市を訪れました。大原美術館を見学してから、美観地区周辺で自由行動となりました。暖かい日差しの中で、美しい街並みをのんびりと楽しみながら、観光をしたり、買い物をしたりして、心身ともにリフレッシュすることができました。

○生徒総会

十一月三十日(日)に生徒総会が行われ、新生徒会長の木村太紀さんをはじめ、十六名の新生徒会役員が承認されました。一・二年次生あわせて七名が新たにメンバーに加わりました。これから一年間、この新役員を中心に、学校生活や行事の充実を目指して、生徒会活動に取り組んでいくことになりました。

○卒業式

三月六日(金)、体育館において全定通合同の卒業証書授与式が挙行されました。通信制課程では二十二名の卒業が認められ、代表で青井綾音さんが卒業証書を受け取りました。仕事や家庭との両立に苦労したり、さまざま悩みを抱えたりしながらも、無事この日を迎えることができた卒業生の皆さんは、とても晴れやかな表情をしていました。ご卒業おめでとうございます。今後のご健康とご活躍を心よりお祈りしています。

かがわ総文祭 2025 特集

開催期間：令和7年7月26日(土)から7月31日(木)まで6日間

全国高等学校総合文化祭は、昭和52年から各都道府県が持ち回りで開催する全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の祭典です。

平成3年度の第15回大会以来、34年ぶり2回目となる香川県での開催で、高松高校の生徒、先生方も準備、運営に参加されました。

今回、携われた方々からの声をご紹介します。



高松高校教諭が作成した「さぬぼん」のハリボテ。期間中香川県庁に展示されていました。

小倉百人一首かるた部門



三浦 悠太郎 3年(開催当時)

[生徒小倉百人一首かるた部門委員会委員長]

大会では全国から最高峰の実力を持つ選手たちが集い、予選を勝ち抜いてきた読手の方々の読みで、磨き上げた技をぶつけ合う非常に熱い試合が無数に繰り広げられました。特に、間近で観戦した決勝戦は記憶に残る激しい戦いでした。このような大会に実行委員長として関わらせていただいたこと、そして多くの人たちの前で挨拶をしたことは、今後の人生に生きる大変貴重な経験になりました。

香川県では、小倉百人一首かるたがまだまだ盛んとは言えず、部活動として行っている高校もまだ1校しかありません。その中で、この全国

総文祭は香川県にかかるたを広める素晴らしい機会になったと思います。運営として参加した多くのかるた未経験の生徒が初めて小倉百人一首かるたを目にし、一般観覧でも多くの人々にご来場いただいて生の競技かるたをご覧いただくことができました。読みの間の静寂から、一瞬の内に札を払いきる轟音へと切り替わる感覚を知ることは、なかなか味わえない体験になったのではないのでしょうか。

『ちはやふる』のドラマシリーズも始まってかるた熱がより高まる中、香川県でもこれからどんどん小倉百人一首かるたの輪が広がっていくことを願っています。

囲 碁 部 門

教諭 中澤 智哉

全国高等学校総合文化祭の代表委員をさせて頂いて、特に大きな問題もなく無事大会を終えることができました。

今大会は、全国総文祭としては初めての、アイゴ（目の不自由な方のための触覚で囲碁の位置や色を判別できる囲碁盤）を使用した大会となりました。いろいろなお意見がありましたが、何人もの全国の先生方と相談をさせて頂いて、そこでアドバイスを頂いたご意見を実現に向けた改善案として生かして、当日大きな混乱もなく競技ができました。

本当に、沢山の皆様のご協力、および暖かな眼差しのおかげで、無事本大会を開催することができました。心から感謝申し上げます。



器 楽 ・ 管 弦 楽 部 門



高松オーケストラ部は、かがわ総文祭2025「器楽・管弦楽部門」の実行委員として大会運営の中心的な役割を担い、また、香川県代表の出演団体として演奏を披露しました。会場が観音寺市のハイスタッフホールだったので、観音寺第一高校の同窓会館をお借りして、そこで合宿をしながらの大会参加となりました。

実行委員としての主な役割は、大会開催までの準備、アナウンスによる進行、出演団体の代表者にインタビュー、生徒交流会の司会進行などでした。他校の運営補助員の生徒の皆さんとも協力して、スムーズに大会を進行することができました。また、開催県の香川県代表としてプログラムの最後に出演して、2日間の大会を締めくくりました。

校友会成績

運動部の軌跡

〈陸上競技部〉

▽四国大会

【男子】

▽走り高跳び 一位 三谷 陸人

【女子】

▽やり投げ 二位 横田 莉奈

▽国スポ予選

▽少年共通走り高跳び

一位 三谷 陸人

▽県新人大会

【男子】

▽走り高跳び 一位 三谷 陸人

▽四国新人大会

【男子】

▽走り高跳び 一位 三谷 陸人

▽R 8 県総体

▽走り高跳び 一位 三谷 陸人

▽走り幅跳び 二位 大西 玄悟

〈水泳部〉

▽県新人大会

【男子】

▽四×二百mフリーリレー 三位 辻井・山下・三村・八幡

▽四×百mメドレーリレー 三位 辻井・八幡・三村・山下

▽四百m自由形 一位 門田 京子

▽八百m自由形 一位 門田 京子

▽二百m個人メドレー 二位 山田 朱莉

▽二百m平泳ぎ 二位 古川 真央

▽四×百mフリーリレー 三位 高柿 沙奈

二位 山田・門田・高柿・佐藤

▽四×二百mフリーリレー 二位 門田・佐藤・高柿・山田

▽四×百mメドレーリレー 一位 門田・高柿・山田・佐藤

▽総合 二位

〈バドミントン部〉

▽県新人大会 三位 田阪 春馬

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人戦 シングルス

▽個人サーブル 三位 佐立 智美

▽個人サーブル 三位 杉野 柚香

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽個人サーブル 三位 木村 恵唯

▽香川県高等学校総文祭放送部門発表会

▽アナウンス部門 三位 小松 佐保

▽オーディオ番組部門 三位 嘉内 雄飛

▽オーディオ番組部門 三位 細川明日香

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽ビデオ番組部門 二位 近藤 颯紀

▽香川県高校選手権将棋大会

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

▽団体 一位 新居・嘉内・松岡

令和八年度 教職員人事異動

【転出・退職】

校長	中筋 功雄	高松北高校へ(校長)
教頭	香川 昌之	坂出商業高校へ(教頭)
教頭	高木 大輔	高松東高校へ(教頭)
事務部長	高島 明美	高瀬高校へ(事務部長)
教諭	堤谷 美恵	高松桜井高校へ
教諭	宮武 泉	三本松高校へ(定時制教頭)
教諭	安倍 祥二	保健体育課スポーツGへ
教諭	藤本 志度	志度高校へ
教諭	松家 絵美	高校教育課人事Gへ
教諭	松本 尚子	高松桜井高校へ
教諭	袁輪 澄洋	飯山高校へ
事務主任	岡谷佐栄子	高松第一高校へ
非常勤講師	西山 欽子	高松支援学校へ
養護助教諭	池田 詩織	小豆島中央高校へ(新規採用)
期付講師	浅田 晴香	高松南高校へ(新規採用)
期付講師	森脇 ゆな	鬼無小学校へ
時間講師	出射恵美子	退職
事務	新田 智子	退職
教務	土居 裕子	退職
教務	篠原 雅浩	退職

【新規・転入】

校長	吉田 智	県教委から(教育次長)
教頭	川東 芳文	香川大学教育学部から(準教授)
事務部長	坂井 美保	高松北高校から(事務部長)
主幹教諭	牛田 尚	生涯学習文化財課全国総文会推進室から
教諭	福家 成樹	飯山高校から
教諭	朝倉 英二	視覚支援学校から
教諭	山尾 理恵	琴平高校から
教諭	松岡 英二	高松東高校から
教諭	大西 かの子	高松北高校から
教諭	植村 志保	高松東高校から
事務主任	多田 明美	保健体育課から
教諭	松原 沙奈	小豆島中央高校から
養護助教諭	岡内 梨乃	高松南高校から
期付講師	鈴木 浩太	善通寺第一高校から
非常勤講師	福井 大輝	新規採用
時間講師	岡 俊博	
事務主事	荒駒 純子	

令和8年度 大学合格者数

1. 国・公・私立大別合格者数

(令和8年4月6日現在)

学 校 名	人数	学 校 名	人数	学 校 名	人数	学 校 名	人数	学 校 名	人数
国		私		立		大		学	
北海道大	2	九州大	4	酪農学園大	1	日本女子大	4	大阪工大	1
東北大	4	九州工業大	1	自治医大	3	法政大	19	大阪音大	1
筑波大	4	長崎大	1	明海大	1	武蔵大	3	大阪歯大	2
千葉大	4	大分大	1	千葉工大	1	明治大	20	関西大	19
お茶の水女子大	3	宮崎大	1	東京音大	1	明治薬大	1	関西医大	4
電気通信大	1	琉球大	1	東京薬大	1	立教大	9	関西外大	1
東京大	9	国立大合計	150	青山学院大	11	早稲田大	19	関西福祉大	1
東京学芸大	2			学習院大	1	神奈川歯大	1	近畿大	38
東京科大(工)	1	東京都立大	5	朝日大	3	金沢工大	1	摂南大	2
東京農工大	3	横浜市立大	1	慶応大	13	豊田工大	2	関西学院大	35
一橋大	1	名古屋市立大	2	工学院大	1	名城大	4	神戸女子大	5
横浜国立大	5	京都府立大	3	国際基督教大	1	名古屋外大	8	神戸薬大	3
名古屋大	2	大阪公立大	15	昭和医大	2	京都産業大	2	兵庫医大	1
名古屋工大	1	兵庫県立大	4	芝浦工大	2	京都女子大	1	清心女大	2
京都大	11	神戸市外大	1	順天堂大	1	京都橘大	2	福山大	1
京都工芸繊維大	1	神戸市看護大	1	上智大	7	京都薬大	4	徳島文理大	5
大阪大	16	公立鳥取環境	1	成蹊大	1	同志社大	91	松山大	1
大阪教育大	1	島根県立大	1	成城大	1	同志社女子大	4	福岡大	1
神戸大	14	県立広島大	1	中央大	10	立命館大	115	その他	3
奈良女子大	2	下関市立大	1	津田塾大	5	龍谷大	3	私立大合計	536
鳥取大	2	山口東京理科大	1	東海大	1	大阪医薬大	4		
岡山大学	11	香川保健医療大	1	東京農大	1				
広島大	9	公立大合計	38	東京理大	15				
徳島大	7			東洋大	1				
香川大	19	水産大学校	1	東邦大	2				
愛媛大	5	看護大学校	2	日本大	5				
高知大	1	大学校等合計	3	日本体育大	1				

2. 国・公・私立大学学部別進学率(%)

学 部	文 外 語 社 会	法 政 治	経 済 商	理 工	農 林 水 産	医 薬	生 活 科 学	体 育 術	芸 術	教 育	そ の 他	合 計
計	20	9	18	4	18	6	10	4	1	1	0	100

玉翠会員から図書館への寄贈図書について

田中美智子氏(昭和34年卒) 『無絃の琴』 1部 上田 倫氏(昭和48年卒) 知の再発見叢書『コロンブス』ミシェル・ルケーヌ著 他 計20部
上野 邦一氏(昭和37年卒) 『受け継ぎたい歴史的町並み・珠玉の建物』 1部 他 計12部 本田 由紀氏(昭和58年卒) 『「東大卒」の研究』 1部

令和7年度 東京玉翠会より寄付金 150,000 円をいただき、下記の図書を購入いたしました。

- 水インフラの事典 1部
- 公共政策学事典 1部
- スポーツ社会学事典 1部
- 責任から考える現代社会 1部
- ジェンダー事典 1部
- 装束と武具の有識故実 1部
- 古代史をひらくⅡ 全6巻
- 日・英くらべて読める 山川日本史 全5巻

計150,585円
高松高校図書館

令和七年度

令和八年三月三十一日現在

会費納入者

旧職員

安部勝雄、池西裕、浮田清市、牛田尚、靱俊男、岡田收司、小野真知子、木村斉、志原正敏、筒井優、寺嶋和子、長尾裕隆、永澤正好、中野望、乃村龍決、真鍋正明、三谷敏雄、本澤大弘、山内康熙

高中

昭一二 細谷寛
昭一五 左達史朗
昭一六 福家幸二
昭一七 塩田治雄
昭一九 星野孝
昭二〇五〇 大津新平
昭二〇五一 入谷啓一朗
昭二一 前田勇、真鍋舜治
昭二二 大西龍高
昭二三 綾田修作、佐野宏哉、村川正良、若井亮一
昭二四 上田宏二、小松信幸、藤本孝雄

晩翠

昭一七 川崎二三
昭一八 三宅スズ子
昭一九 青木富美子、沢井志津子、平井弘子
昭二〇五 桑内道子
昭二〇四 大山禮子、陶山和子、八田明子、満岡式子、山田洋子、吉原千香子
昭二一 安達恵美子、入江一恵、大鹿節子、川下郁子、河野桂子、西山恵美、堀川幸、山崎朝子
昭二二 井内菊代、鳥飼敦子
昭二三 穴吹暎、鎌田良子、田山佐代子、出口ツタエ、松岡道代

昭二四(女子高) 中塚綾子、野口喜世子、蓮井和子、八田恵美子、福田文子、水野綾子
昭二四 泉川良子、板坂恒子、上井茂子、加藤梶子、河野孝子、小西道子、広瀬テル子、真鍋温子

高高

昭二五 河西孝信、木村崇也、木村寿美代、平尾和俊、平見芳和、堀正和、槇塚安得、山口功男、山谷敏夫、渡部和子
昭二六 伊賀智壽子、磯部祐子、稲田公子、井上之、岩田和哉、大須賀選、大林淳子、雄倉孝尚、大佛和子、大比賀友喜、香川貞子、梶富喜子、川越久子、木村高夫、木村道夫、久保あけみ、櫻井文榮、七條昌一、島田美津子、末澤正則、田中博子、谷毅夫、谷本エミ子、中北恭子、中村眺三、灘波文子、根岸茂、野村美栄、葉原耕平、板東節子、蒔田美智子、松岡正近、真鍋ヒロ子、溝渕悟、森武子、山名昭恵、吉野宗
昭二七 朝江美恵子、井川久之、池内皎隆、石津則子、今田寿子、入倉満、大久保弘子、大谷寿恵、大塚寿子、大西久美、岡野博通、岡本節夫、算双子、勝又忍恵子、角陸正健、木下治代、木村多美子、栗山明子、桑島幸子、小島徹、高橋正、多田幸子、多田昌弘、谷野瑞代、谷本久美子、土田孝栄、長尾薫、西山美代、蓮井玲子、濱本藤夫、林越幸、平田英明、廣瀬朔子、堀池進、松原大子、真辺千也子、水嶋浅茅、水野道代、皆黒未知代、三宅美智子、山口芳子、山下祥治、山本良子、山本洋子、吉田正、久保和子
昭二八 青峰徹、浅田正夫、今岡哲雄、朝紀子、太田宜子、大塚裕康、大畑肇子、小倉典康、川口春陽児、小嶋治男、小谷主子、児玉正豪、齋藤敏夫、昌司照雄、白石典彦、末澤富美子、関谷聡子、武田節子、多田信夫、鶴川舜一、寺林悦子、永井正敏、中島倫子、中村千恵子、野正照美、平田實、堀江曉子、町田照代、松本美津江、毛利滋、森恵洪、森田一、横田大和、高松千鶴子、松本喜久子
昭二九 井川和子、池内章、石橋治、井上幸代、今治幸子、大熊明子、太田幸子、大林晃子、奥村勉、雄倉幸昭、加藤伶子、木村義彦、佐藤正美、佐藤靖子、田中澄子、土居邦子、中村成子、中村敬子、長谷川汎、東原康雄、福西久好、福家信雄、藤井和代、

藤本方子、間島豊、松本美榮子、真鍋千賀子、三浦昭子、三好良子、村上民子、安松玲子、山田久雄、湯谷節子、吉田晃、吉永清子、藤田孝栄、青木千夏子、大林正敏、柏原清

昭三〇 秋山夫佐子、浅野道子、穴吹イッネ、池添善山、植田明、植松修三、遠藤俊一、大沢一子、岡田昌子、貝沼三栄子、寛千賀子、加宮利貞、篠原俊一、白井勝子、鈴木靖子、高浜修、辻孝夫、中橋喜久子、中村博實、西井戸惇子、西岡喬、原田佳江、平尾和子、平田祥子、福田尚子、藤原洋子、前谷亮三、松井昌子、三谷浩一、源淑子、宮本宣明、村山守信、森井晶子、吉川孝、吉本照子、渡辺澄雄、古川利夫

昭三一 井竿喜久子、石濱和子、岩部克美、鶴川英、大西孝一、垣田亮治、加藤徹、角谷實、金澤周子、狩野七子、河合功、木下久美子、倉田康男、栗永和子、黒田道子、香西幹夫、古賀英子、佐々木敏子、佐々木順子、佐竹正博、下山順子、白井治、新名弘康、須賀敦子、関知恵、田岡典子、高木美博、高原尚子、多田敏、田中早苗、田辺幸範、田村秀子、中條安雄、中條康夫、寺内和子、中川和代、中村都、中山信之、西川勢津子、西村和雄、西脇美重子、橋丘夫樽子、原節子、樋口正明、久松節子、藤澤敬子、古市清子、逸見正造、松尾景子、松本宏、松本澄夫、眞鍋恭子、溝渕孝雄、宮武敏夫、宮武茂行、山下實、山田光彦、吉川和子、塩田雅子
昭三二 秋山充子、足利昌子、池添眞砂子、今岡重夫、今松順子、鶴澤敬子、牛尾矩子、遠藤忠知、大塚順子、大屋敷重信、小笠原坦、小田原満知子、梶河正孝、川崎妙子、北村昌史、木村宗祐、合田重子、小西靖子、新名忠矩、末澤弘嗣、杉本静江、高橋朋子、武田七郎、龍田玉子、田中伊都世、谷川照、飛谷高照、鳥居三千代、長尾稔、中筋二郎、西浦雅子、新田美千子、秦弓楓、波多野光子、濱田清、樋口浩良、藤井人志、藤原克子、伏石和美、松本俊司、三好守真、村上征一、村上由美子、森田健一、森田幸子、森山義政、山川早苗、山崎可壽子、湯沢啓子、横山湜子
昭三三 浅田裕、天野勢津子、池尻治、石井全、今澤一恭、井宮秀明、植村登、白杵貢江、大岡絢子、大捕宣英、大西旻、大林紀久子、大村晃子、岡野俊

樹、岡野道子、岡本政俊、川上智、河北晏矩、河原忠一、神辺俊郎、北浜章子、木村栄二郎、国方康博、久保勲、久保正範、桑名芳昭、佐々木成忠、佐藤弘子、柴野孜、瀬正子、瀬藤利生、相馬花子、十河靖子、高木耕三、谷本正彦、谷森勉、田村大司、千葉節子、鳥塚尚子、中井道子、長谷川勝子、原田純、原田貴弘、平野数夫、廣瀬彰彦、藤村武子、藤本利子、藤本良志美、二川文一、古市征、古川登代美、前川勲、前田憲孝、前田道之、松村也子、真鍋光広、間宮淳子、丸岡幹二、三谷純子、武藤満雄、山口興平、山田守雄、山田裕規、湯野寿也、吉岡崇、吉田陽彦、片山由美子、斎田仁美、佐野紀子、伏石誠子、丸岡紀代、横関紀久子

昭三四 安藤知子、安藤佳子、池田一昌、石田曙光、岩田淳式、上田和子、太田孝、大谷忠、大野由美子、小神伊佐子、岡本徳子、梶野茂、香月桂子、加藤祥子、河合洋祐、河瀬一紀、喜多俊雄、木原文太左右衛門、近藤敬司、齊藤郁子、齊藤雅美、三枝基、佐竹睦子、佐藤薫、塩本宏子、品治重忠、柴原力、清水美智子、関根和子、高橋紀代子、竹内章雄、手塚裕子、土居英樹、豊田郁子、中谷浩三、仲野眞次、中村裕恵、鍋田佳子、東川澄清、東川郁子、樋口順一、平井伸也、福家俊男、藤井照芳、細川治、堀家敏弘、牧野豊、真鍋武紀、三栖祥児、湊和子、宮川栄之助、三山雅敏、村上雅子、森岡令和、矢野隆子、山本正雄、吉野紀代子、渡辺修、広田耕一郎
昭三五 青木喜美子、秋山欣子、綾野親徳、安藤瑠美子、石田守正、泉文隆、伊藤保憲、糸見幸代、上原繁美、大川治子、大木幹夫、大塚佐知子、大坪和彦、大西大介、大西周作、大西信子、大室和代、岡澤恵美子、小笠原武、小笠原尚子、岡田國義、岡田雅子、織田久美子、小野利明、小原文子、笠井ミヤコ、笠井邦彦、片岡章、加藤鏡子、鎌田毅、鎌田進一、鎌田隆、加宮恵美子、河合英幸、川口正之、河田俊彦、菊池洋子、北谷英紀、木下進、木下榮一郎、木村学美、木村勝紀、國宗孝雄、倉本久美子、黒田俊英、黒田泰弘、国生徹、児玉皓次、児玉秀正、小林好美、小林叡子、駒松健、斉藤寿良、酒井典子、佐々木義胤、佐々木史朗、佐藤彰男、三田喜代美、柴田輝男、清水綾子、修理輝男、末澤功、関子知久、十河純一、蘭浦政勝、田井朋子、高木茂昌、高崎浩

敏、高嶋克洋、高濱孝、高原徹、武田善行、田中省三、谷原昭子、谷本朋子、谷本美那子、谷森圭子、玉越公智、團野恵子、中條和臣、中條邦宏、土屋美子、土井伸一、豊島英俊、豊島徹、栃折慶子、富永千恵子、友安秀子、中野紀子、中野文子、中村昇、中村恒章、中村美千代、中山幸子、西本功子、浜本俊一、藤井英世、藤木孝一、藤田紘美、藤本征機、藤本定斗支、二川浩三、本田道明、松木信、松本修二、松本孝子、真鍋敏毅、真鍋禮男、溝川陽子、三野宏、三村良弘、宮武秀夫、宮武哲、宮本仁美、向井輝彦、元久正美、森順子、森川伝、森山亮、山下俊次、山科桂子、山田勝、横山邦子、新田笑子

昭三六 青木博美、浅田昭、穴吹洋幸、安倍惇、荒木統、池田正美、井上浩二、植松登志子、植松芳哲、宇賀美代子、江川希美子、江村美光、大宇根成子、太田房雄、太田曙美、岡奎子、岡興久、岡田佳代子、越智美子、片山重正、鎌田基志、釜野智裕、鴨川尚史、木山昭栄、久保正篤、久保田幸世、桑島美、小嶋武士、五ノ坪恵子、小林孝良、小林忠子、佐々木ウタ子、佐藤芳久、四宮靖三、四宮美江子、神内好伸、陶聡子、鈴木鞠子、高木久美子、高橋良忠、武田英徳、田中歓子、千切谷多一朗、辻川小枝子、津田健二、飛田久子、飛谷節子、中村敬、中村照美、西川怜子、西村博、原洋子、久本紘一、平山祐助、藤本良子、細川憲昭、細川修吾、前田葉子、増田徹也、増田昌三、松尾美智代、松岡重子、松沢尚子、松下好博、松原寛治、松本英伸、松本保子、真鍋宣子、真鍋芳美、三好紀子、三好益美、森祥子、森渥子、山地正彦、湯藤美千代、吉田澄子、吉武泰俊、與田康子、和波保

昭三七 秋山建樹、荒井信子、安藤正道、伊賀淳、猪又清之、漆原澄子、大崎弥枝子、大須賀誠、太田義行、大野毅郎、岡崎洋、岡田超生、岡本房子、小川翼、小国昭、小沢規夫、小野泰子、香川暢也、金田清臣、鎌田紘志、喜多克幸、北泉洋子、北岡保之、北岡幸子、熊敏彦、久米修三、黒田好子、黒田節子、黒沼淑子、桑名信雄、五井修子、香西敏、河野芳樹、小松義照、近藤俊子、斉藤司朗、澤村田鶴子、塩田洋、塩津俊幸、神内美美子、神保昭子、杉内克己、鈴木郁子、関口俊彦、千野昭代、高尾義介、高濱信之、高松薫、竹下邦彦、多田清美、谷川宏、玉置正

辻勝子、鳥居昌子、鳥飼勉、長尾榮治、長尾幸夫、長滝秀信、中野義子、野崎敦夫、幡英一、林越則昭、原田克子、広瀬健次、福田照美、藤澤峻、藤村祥一、二川尚子、船曳桂子、古澤恵紹、細川昌美、塹江正志、増田生成、松岡博昭、松崎弘美、松本芳樹、南秀樹、三原弘子、宮武邦夫、宮野明子、宮本盛規、宮本啓子、三好勝彦、村上誠一、森忠彦、森田順子、山崎敏範、山崎瑞枝、吉田雄二、吉田育代、和木典子、鹿嶋忠明

昭三八 朝國武子、石川喜久、石橋紀明、今岡幹典、植田重則、上田英敏、植松勝之、植村忠彦、内海茂男、大西宏子、大橋公子、岡田幸子、岡部敦弘、梶村正俊、鎌田邦栄、北角幸弘、吉瀬祥子、楠知子、小杉忠夫、後藤節子、佐伯眞作、重松麓、新谷勝廣、須田勉、十河泰子、田井稔三、田岡聰、高井紀代、高木宣子、高田美穂子、高橋悦子、高松洋、田阪武夫、多田奉子、立山真浩、竹馬輝子、辻義人、富家勝、野口吉信、袴田邦子、原田正文、東原英二、廣田一機、廣田正子、福士三千子、福家正博、福家桂子、藤岡勢都子、藤田雅敏、二川俊秀、真鍋慎吾、水口裕之、水本尚、宮北幸、宮武正明、三山恵、三好尚武、向井友一、元木碎香、森茂昭、森川信子、森田紘一、柳敬三、矢野智行、山谷幸男、吉武信子、和田かず子、渡辺トシ子、常谷忠克、中山哲子

昭三九 赤澤寛幸、秋山美紗子、浅田鈴子、東時子、安藤武士、伊賀俊夫、池田駿介、石川恭子、岩佐多佳子、遠藤啓吾、遠藤顕子、大西昭宏、岡健、小笠原邦夫、小倉良弘、尾崎修敬、小畑美智子、小比賀俊彦、河西和江、桑井政信、小磯智恒、香西祥子、小塚照美、小西博行、齋江知、齋藤壽彦、佐古昭代、佐竹勝利、佐藤孝、塩田嘉明、重松純子、洪谷崇子、島本梨恵、須田嵩、瀬川博子、高田等、武田一恵、千切谷真澄、寺尾眞樹、中井徹、永崎隆雄、中西登紀子、長町典夫、西島正子、西本攻、蓮井直行、蓮井加代、濱本貴美子、原田美由紀、藤川吉祥、藤川幸子、藤原一俊、松田満里子、松田美也子、松村憲太郎、松本英子、真部利応、湊貞博、三野安意子、宮北薫、村井恵子、山下祐一、山地正克、横田豊、吉岡郁子、吉田雅子、吉原哲也、和田朗、常合香代、米津照夫

昭四〇 赤岸滋、赤松葉子、東弘子、穴吹和士、安

藤嶋、伊賀豊和、泉谷武信、稲葉昌子、今上茂樹、岩瀬雅宏、岩藤昌樹、白杵季典、大川直澄、小河孝則、小野スミ子、萱原徹男、河田マリ子、北坂典子、北原幸子、栗林伸碩、後藤康生、後藤正徳、小西憲昭、品治純子、末包昭彦、高尾佳巳、高見政己、高見純子、谷口光、玉越美雪、土屋博子、堤康、角田朝則、寺尾卓、遠山誠司、徳永信子、中井敬子、中西かをる、中野美恵子、長野新一、中村茉莉子、中山隆司、中山惇、名和詔子、西尾道子、西田耕治、西原浩、西村弓、乃一裕、野口章男、八田光、平尾耕三、平賀政子、福井義喜、福家秀紀、藤川行江、前田みどり、横井和彦、舛形勝、松岡睦子、松田滋明、松原珠美、松本百合子、水尾一信、湊唯義、三原衛、宮西克彦、茂中淳二、森岡茂、森本雅栄、森山敏子、八十八川紀夫、山下美智子、山田義雄、湯藤隆司、横澤生子、塚田昇

昭四一 赤沢喬子、足立協彦、穴吹久子、岩田喜美枝、岩村わか子、浦川建一、漆原万里子、江郷知己、大谷俊子、大西利喜子、大瀧義幸、大藪修二、岡悦子、小笠原敬三、岡田千昭、岡田憲政、岡本敬子、荻田耕三、小田レイ子、榎原正也、加藤英子、河合達治、河口三枝子、川田清彌、川南節子、喜田幸子、木下俊子、日下瑞子、楠聡文、久保田ミワ、桑島治子、香西志津子、合田吉徳、河野正子、小亀文代、小西博子、近藤秀樹、佐々木良一、佐藤隆、佐藤修二、塩田孝、志摩靖子、島村久美子、白井清司、白取美由記、杉上彰、鈴木清子、砂川敏文、諏訪輝生、関根建一、孝岡弘子、高田敏也、高橋博之、高濱安子、高宮あゆみ、武井邦夫、武内滋、多田則明、多田玲子、田附尚、立野省一、田中陽子、田村貞雄、田村真美子、筒井順子、鶴見邦夫、土居徹、登那木悦子、富田朱美、長尾肇、長尾朋、中原きよ子、中村秀明、中村弘、中村美智子、中村陽子、中山艶子、灘波章、西村良治、野口吉秋、浜坂保治、浜坂幸代、原京子、東原憲子、広瀬政憲、広瀬幸子、福井励子、藤澤淳、藤野裕子、藤本彰二、二川和彦、細川和孝、堀井茂男、本津孝幸、間島輝利、松井美美、松本一路、松本信吾、松本太一、松本博子、松山千恵子、丸吉章、三浦卓一、三河豊章、三木知子、溝渕利博、三橋朝子、箕田俊介、宮崎哲雄、宮崎一郎、宮崎高子、宮下慎一、宮本富夫、宮脇良秋、六車正章、村

井邦汎、牟禮明、森茂樹、森知子、安原ルミ子、矢野恭治、矢野博昭、山崎三十子、山崎律子、山下民子、山田智、山田潔、山地康夫、山本一郎、横田ひとみ、米澤幸子、寅丸絹江、森川輝男

昭四二 明石陽子、阿部修二、池内巧、池田文明、池田茂、石橋真知子、稲田和則、猪子順、岩崎敬子、岩嶋修治、岩田好範、岩本悟子、上野廣子、靱修二、大須賀和子、大坪美知子、小笠原倫子、岡田はる子、小倉マリ子、遅沢徹、織田靜信、香川茂雄、香川マサ子、梶村恭子、片山博親、鎌田町子、川西笑子、川西進、川野壽、河本彰、木谷紀子、熊野清、衆井純一、黒川秀子、小磯修二、古米俊雄、佐竹和子、佐藤公信、佐野八重子、隅田和子、瀬尾憲正、瀬尾洋子、十河喜代、高嶋博、高橋敏美、竹内富美子、田原清美、田伏繁晴、瑞田健二、瑞田隆子、田村隆男、対馬健三、手島洋一、中井敬一、中尾正喜、中土成子、中村芳正、新谷充則、橋田敏子、波柴幸子、橋本幸久、馬場康史、原田俊、平井陽子、平尾準一、平川峰子、藤澤哲夫、藤田万久、藤花康子、二川正志、堀上さえ子、前田道宣、前田直俊、前田糸子、植田實、増田佐由美、松浦利行、松尾和代、松岡修平、松本隆茂、三木周一、水本節子、皆川鈴子、宮武秀俊、宮本多恵子、森一真、八尾房代、山本直樹、横手朱美、渡辺行範、岡田久、毛利成一

昭四三 穴吹修二、飯田博、飯間秀雄、池田篤子、和泉克応、出上文雄、伊藤擴充、稲毛敬三、入倉則夫、上杉哲人、植田里津、上野準一、植松正良、宇川彰、牛川務、卯目和巧、太田道博、大西豪、大眉秀人、岡部悦子、鏡原満、香川優、香川敬三、櫻昭二、加島英二、加藤秀樹、加藤一正、加藤育子、門田賀子、川崎正視、川崎達夫、川畑省三、喜多悦子、北原信子、吉川富子、鬼無律友、木村安男、桑原安子、小坂悦夫、小西久典、小西洋子、斉田光則、佐藤俊行、七條政志、柴村孝昭、十河泰司、大師堂清美、高岡英治、高木英一、詫間行芳、竹下和男、伊達順子、田中恵、筒井伸司、常谷薫、坪井俊樹、土居正博、永井博行、中塚静夫、中野百合子、中村敏雄、西村みち子、二宮信治、能祖文雄、原田洋子、東原潤、平尾美子、平山隆子、藤沢讓二、藤澤万季代、藤澤福子、藤田壽子、藤村勇、古澤幸夫、別枝修、星野次永、堀家みどり、溝渕寿一、溝渕敬子、

三谷千尋、宮地節興、宮脇範次、三好三香穂、村瀬千明、矢野裕子、山上英司、山上明子、山崎具美枝、山下明、山本二平、山本道子、湯山伸一、吉田良順、吉本泰三、頼富節子、渡辺純子、井嶋温子

昭四四 秋本まり子、明田正輝、穴吹一雄、天野義行、天野拓、天野百合、伊賀宏文、石川幸子、糸瀬敏恵、井上正美、今井恵一、入倉憲二、上杉エリ子、植松恭平、卯尾田和子、内原勇、遠藤隆江、太田賀久、大橋洋三、岡田万里子、岡田和美、小原文雄、海面豊、影山潤子、梶茂樹、片木留美子、鎌野富士子、河井忠比古、河合幹夫、川田佐知子、岸本律子、木村明美、木目由美、久能健一、久保克己、熊丸幹子、小泉康裕、小竹和夫、小西博子、齊藤旬延、佐竹悦子、里見恵子、重松佐栄子、清水具代、清水昌子、須田文誉、隅田秀一、高橋千寿子、竹内司、竹

広章代、田代恵子、多田和真、多田譲治、多田薫、多田好克、谷本美佐子、田村正行、土岐和美、中尾裕、中尾好輝、中尾洋子、長尾哲見、中川保、中山真理子、西田直樹、西山司朗、野崎達三、濱島研作、林越洋子、原田章二、坂東啓一郎、平尾幸夫、平田隆久、広瀬真理子、福田雅子、藤本和子、松本伸一、丸尾幸嗣、溝渕香代子、三原聖則、宮地英子、三好純一郎、三好真琴、三好久美子、向井万里子、虫本光徳、村川英一、村松礼子、森川敏純、森崎秀子、山本博、湯浅葉子、吉田渉、和田俊裕、渡邊洋子、渡辺正博、六車一夫

昭四五 青木茂、青木宏道、安西陽子、安藤由和、池上晴英、池田恒明、池田由子、石垣佳邦、石鍋典子、泉裕二、伊勢明人、伊藤輝一、岩見葉子、植田和弘、植松由量、榎原恵子、大熊一任、大澤昌子、大嶋正司、太田洋子、太田和代子、大西茂明、小笠原弘子、岡田行雄、岡本久大、小佐野千重子、片岡正章、加藤寛、加藤朋子、金森越哉、亀田進、川田由美子、菊間恵子、岸本泰三、喜田圭一郎、喜田恵治、北川康裕、國友美則、久米川和子、久米田茂喜、古賀益子、小島照雄、小西郁生、小山美恵子、榊原賢治、坂口道啓、坂元順子、坂本博子、櫻又正士、佐々木和子、笹島幹豊、笹原常良、佐藤和史、穴戸晴美、下村博子、神内幾代、諏訪千秋、高垣健治、高崎美知代、多田幸司、多田啓志、田中弘之、田村寛司、天雲定義、天雲一裕、富百世、中博史、中川

茂樹、中津佳昭、中塚みどり、中山幾代、西岡千鶴、原田育枝、平田博、福西敏浩、福家哲哉、藤原裕子、古川健造、別所博子、松岡正己、松岡幹雄、松家由岐子、松垣富美子、眞鍋和人、眞鍋現代、三浦雄二、三好章夫、向井幹雄、村山正俊、森岡眞治、森田知恵美、安澤和彦、矢野年紀、山原芳男、吉村純子、米沢基子、渡邊智樹、渡邊寿磨子、渡里幸平、村川正信、川下幸夫、北岡譲、村上美智子

昭四六 秋友直文、飯間康代、植松道治、大谷義美、大村章子、岡保彦、加藤雅子、川崎将弘、鬼無敬子、木村修久、国方孝、桑崎正春、後藤順子、小西和子、齋藤誠二、酒井美智代、佐々和子、佐藤法暢、篠田美津子、白方茂樹、圖子泰、高木裕子、高橋京子、高橋彰子、谷口等、中条一寿、辻川弘子、寺井健、土岐彰、富田直樹、中島久男、中島英男、中村良平、仁木壯、根川泰彦、蓮井昌彦、長谷川浩一、原口君代、日詰裕雄、平野佐代子、藤澤孝男、藤原郊美、眞崎牧子、間嶋弘、松井美紀夫、丸谷幸彦、三谷哲夫、宮沢康、室笠豊子、山内眞弓、山本眞也、脇口明子、脇谷勇夫、秋山寿行、岩澤和夫、四宮洋次、菱井利祐、松岡省三、安田元、山下和彦

昭四七 淡河美智子、天野徹、井口義也、池田恵子、猪崎弥生、一村公典、井上浩一、今岡扶彰、上枝正人、上枝百合子、上原昭子、上春育子、大角芳史、太田康子、岡弘文、岡範全、岡英憲、岡内利文、香川典子、梶野雅義、片山美代子、川西健登、河本恭之、神田成栄、木村ますみ、草薙幸子、久保正典、久保隆彦、久米川啓、合地研吾、小坂真智子、駒木典子、齊藤美代、佐藤茂、佐藤哲男、志賀松邦敏、嶋靖記、正緒孝史、鈴木史江、高田純子、多田美佐子、立岡英宏、田中多代、壺井俊博、出口隆一、出口清子、出口美岐子、寺師明美、天雲俊夫、富田安信、中澤亨、中西範幸、南野三津子、西村康子、西山文子、西山徹、西山弘子、野口隆、野崎憲子、羽柴敬二、福家智子、藤川宏樹、本家陽子、本田章一、間島賢治、松岡久美子、松岡知子、松山哲也、丸山徹、三浦誠、三日月善夫、三谷啓子、三野朱美、宮武茂典、望月理子、和田勝、飯島裕幸、岡田育子、阪本一樹、土居範行、東原正明、三野容志郎、西内和子

昭四八 芥田敬三、阿部知代、井口進午、石田裕一、

石田純子、泉尚好、稲垣浩、稲田幸三、岩部隆彦、上田倫、上原邦昭、上村和夫、内啓一郎、大井久恵、大石哲也、大熊一郎、岡輝人、岡内清弘、小国正明、織田幹子、柏原一彦、川北智司、川窪洋子、川下譲二、菊地澄子、帰来雅基、久保典子、倉敷ツヤ子、栗本博、黒瀬高明、小石泰子、香西一憲、香西良子、河野功、小西二郎、齊藤久克、酒井稜、里見昌信、白石宏志、十河政史、高畑淳子、詫間美千代、竹林由美子、多胡一美、多田泰三、田中勝英、谷澤昭彦、寺嶋吉保、土居譲治、仲西さち子、中山緑、西山正寛、西山幸代、丹羽一夫、沼本篤男、野島誠、林義隆、樋笠桂子、榎本泰雄、藤井敏孝、藤井美栄子、藤枝好、藤田邦夫、藤田和志、藤田光代、堀祥一、堀川利裕、松本浩史、丸谷照代、水杉好子、美馬祐一、宮本幸治、宮本吉朗、宮本陽子、宮脇誠、森秋文、山下友子、山地芳和、横山美登里、渡辺雅子、稲井秀次、川原一芳、十河憲夫、富永信彦、畠山茂毅、藤本美智子、松本孝之、真井邦晃、宮本丞祐

昭四九 浅野民枝、東雅之、安藤千代、池田和真、石田謙作、内田徹、上井邦彦、大嶋匡博、大西値恵子、岡正晶、岡隆彦、岡内伸介、小川哲郎、小比賀吉男、加藤昭彦、川井亮二、木内照朗、北村篤孝、久保豊、久保睦子、佐瀬洋一郎、高桑名保美、高山もと、武田智博、武田英照、田島朋子、谷本一成、土居英之、土居邦壽、長尾忠司、中島延淑、中島玲子、西原義和、野村充伸、蓮井善規、林恵、久本美穂、平田芳廣、廣田光宣、邊見千香、本川一善、松島泰、松延秀一、水野全裕、宮井淑也、三好和幸、三好久美子、山下誠志、中条良則

昭五〇 朝原周一、穴吹善範、安西田鶴子、池田育嗣、池田朋子、泉谷正紀、井上康、今竹泰典、大角京子、大西葉子、大林直嗣、岡山栄作、奥村康夫、垣見知英、岸本直子、河野美智子、小林巧、近藤延子、佐藤暢、柴田節、島本和徳、修理伸一、菅原香代子、鈴木聡、隅田啓、田所裕幸、田中孝一、土居葉子、徳広信也、豊澤佳弘、名尾和広、長井啓介、永留三恵子、中山易典、野村昌弘、萩本豊、萩本佳美、萩森康史、橋本香代子、花房長広、浜崎泰子、榎本令子、日吉孝夫、平井一也、藤田次郎、淵崎正弘、逸見美千代、見市昇、三谷勝明、港義弘、南壁希代子、三宅明徳、三好智次、元山賢治、山村雅彦、

山本徳洋、六條博幸、和田孝子、和田邦子、住谷眞、中条博子、板東靖人

昭五一 伊賀弘起、右川誠一郎、大喜多俊彦、大西泰史、大西ゆかり、大林實温、岡悦子、香川祐一郎、川原央、菊池和也、楠瀬昌作、桑和子、桑嶋正寛、坂田貴之、櫻又浩、佐藤涼介、杉山洋子、鈴木誠祐、高崎真治、高橋洋子、滝川稔、武内一、田中佳利、谷川修一、富田弘明、中井敏博、西岡牧子、西村明子、楚中玲子、平野郁子、福島敦子、福田陽一、福家昭彦、細谷芳久、溝渕祥民、三野植男、宮地岳彦、山口朝美、山田徹、山本博司、利藤房男、渡邊晋二、岡見吉規、橋本映美

昭五二 阿川昌仁、天野盛資、綾田智子、井坂司、石川高英、伊藤尚、井上耕一、入倉尚吾、植松健、大島由加子、大塚康正、大眉勝則、大森明子、岡秀樹、岡史朗、小河恵朗、小瀬木滋、角陸晋二、龜山祥子、神崎俊、合地仁美、佐瀬龍次郎、佐藤麻由美、塩田昭弘、塩見勝彦、新名孝司、鈴木稜、千野みゆき、高木佳美、高橋伸治、高橋由美、竹内明美、武川恵子、多胡光代、富田久美子、長町亨、永峰伸一、西山淳一、濱川喜旦、林美千代、林充代、原内大作、藤澤一郎、北條ひとみ、米谷隆雄、松田欣未子、眞鍋裕司、三木真司、三木武司、三島義之、溝内正康、三谷泰司、宮崎正、宮武礼子、宮脇誠、三好正幸、森康代、山田光一、和田晃尚、木村吉宏、五嶋孝博、山本修平、丸吉洋子

昭五三 青木英晃、梅津裕美、大塚紳、大畑善彦、大林公一、大林照史、河合哲夫、北山雅彦、北山明彦、葉天規根子、日下卓則、小佐古博史、小谷景子、小山宏記、佐々木祥二、佐藤良二、鈴木佳代子、住山喜昭、十河裕之、十河千穂、田岡英明、高島寛之、高橋英二、竹内啓子、土居邦弘、徳田桂一、中井達郎、灘波博司、沼原利彦、馬場正子、広瀬友彦、藤本邦人、藤本幹子、麓泰紀、松岡貴之、松下節子、松野和彦、松原幸子、丸尾紀昭、水野牧子、宮崎俊也、森明史、森泰藏、山口弘信、山下寛子、山本敦之、横山徹、吉田守秀、渡辺裕之、池田義、関元直登

昭五四 青柳佳枝、浅蔭典男、穴吹久仁、安部忠明、新井ゆかり、石井浩之、石谷誠、今井万里子、植松紀子、大倉朗人、大出茂晴、大西えい子、大西宏明、

大原昌樹、押野雅史、亀井智子、川口清弘、木村重之、日下哲也、久保晋、熊澤毅彦、後藤亜貴、佐々木浩之、佐々木悟、佐藤哲也、島津昌代、庄村敦子、新開里津子、助吉建彦、須田邦男、関谷利裕、十河信二、多賀朱美、高岸浩子、高橋雅直、高橋道也、高橋佐知子、竹内崇司、竹中千鶴、多田栄三江、中條晶子、津野和幸、鐵理代、豊澤徳子、長尾正樹、長尾誠、藤澤明彦、藤澤佳子、藤澤伸子、豊後雅巳、細井恵美子、細見真喜子、堀内政信、堀内尚子、植野浩司、松健健二、的場陽子、真鍋英男、三日月加奈、水澤聖子、宮本浩美、森川一幸、山口裕視、山下昌宏、山本一郎、吉村恵美、吉本睦、RUTZ美香、渡辺稔、平尾宏

昭五五 安宅比呂美、池田豊人、池田康彦、石濱英暢、植松浩美、木村りさ、楠瀬丈生、桑島洋子、香西新五、香西卓、小柳和代、佐々木啓之、志賀紀之、柴田周、杉ノ内謙三、高崎恭子、太山尊弘、出口一志、中尾都、中西徳彦、長町顕弘、永由美保子、能祖一裕、橋本三起子、秦敏博、東原寛二、廣瀬昌也、福家司、福家徹朗、藤川孝三、藤本悦子、細川典宏、堀重美、松木聡司、松原敬子、真鍋千恵、萬好都美恵、山崎直樹、山田大介、山地茂之、吉田史枝

昭五六 秋山賢次、石岡邦章、石丸伊知郎、内田雅仁、太田理、大西聡、岡谷史子、岡本さゆり、亀井英俊、川田英樹、喜多真登美、櫛橋明彦、合田光宏、小西英登、小早川龍司、櫻又直美、佐々木晶子、佐藤賢治、佐藤今日子、清水善明、田中裕、田辺育子、西村仁則、藤田祐、藤本拓資、細井智代、三浦治、水本恵美子、三船司郎、八十川大輔、山本くみ江、山本麻有里、吉鷹秀範、渡邊一弘、渡邊智子、渡邊浩一郎

昭五七 石濱琢央、石濱美子、伊藤菜穂子、井本康裕、岩井孝之、上野佐都美、大出真由美、大内山基明、大西久宣、大林智彦、岡内眞一郎、小川義文、門脇慎人、喜田智幸、河野哲哉、小島謙治、佐藤いずみ、新川洋司、杉元幹史、多田幹明、出口理恵、土居享司、豊田英二、鳥居研志、南里正治、西村直子、羽野精一、馬場博史、治多伸介、松原真治、松本寿、松本泰則、溝内ゆかり、六車直樹、山崎裕子、吉井敏浩、淀谷圭三郎、英巨

昭五八 荒川裕佳子、石井希典、泉谷和美、大西弘

倫、岡本昭彦、加嶋敏広、加藤宏一郎、狩野直子、川井裕基、河西邦浩、川村一子、木村建彦、小竹京子、斎藤龍一、佐伯祐司、佐々和美、佐藤扶美子、佐藤久美子、寒川顕治、塩田等、鈴木朋子、十河聖司、高崎義久、多田和修、谷崎琴、樽谷美香、中儀香織、中村正、乃村公二、濱田徳郎、古野美穂子、前田潤治、町田聡、三沢篤志、溝内哲也、三谷英信、三野靖、宮武幸司、村尾俊紀、村上秀記、森真理、守谷牧子、山口理恵子、山城右武、山本幸則、山本雅子、能祖文子

昭五九 阿倍博信、井川一裕、池田知子、市原典子、稲毛幸一、上枝万純、植村友香子、大西委子、小川正人、金子洋子、兼森三恵、北堀礼子、児玉敬次、白石哲也、神内一郎、神内美都、新名桂子、須田顕子、高橋祥子、中筋功雄、中矢和広、華多真美、平尾幹子、前田八州彦、村川和巳、山本真裕美、横田由香、長谷川富美子

昭六〇 石河利広、植村圭一、大西研至、尾崎努、香川礼香、加藤琢二、川上由佳、北内道代、業天恵美子、滝口信、多田義孝、田辺早苗、谷本真、中田智博、西尾徹、沼原紀子、細川典子、松原淳、三木重昌、森総子、山口真弘、山田晶一、吉田年秀、安戸久泰、北條緑

昭六一 伊賀史朗、石川りか、大西晴子、岡美樹、小比賀聡、加地美智子、葛西正臣、上原靖弘、鴨居真理子、神部順子、木村勇夫、舩葉典子、久保誉一、小阪昌代、小見山淳子、酒井佳代、笹井文仁代、多田康臣、伊達章、田村智子、土居良助、萩池昌信、浜恭子、濱野奈美枝、林秀樹、板東真由美、平岡知子、平山勝敏、藤本千代、古川万里子、本多明雄、本多完次、本多英雄、前田圭見、増井佳子、松本弘司、丸岡弘明、村尾仁、八木田佳樹、ロージ美佳、和田朝子、和田友樹、高木タカ子

昭六二 安部洋朗、荒木みどり、荒木隆、石田茂登、伊藤雅久、梅澤ユカリ、大西朋子、岡下秀紀、岡部祐介、川西毅、川西紀子、葛原由起、河野仁治、真光浩司、曾我部豊、田井直、大東寿夫、多田寿徳、谷本浩二、辻正彦、土山佳代、土居晶子、中城久美、萩池淳子、馬場信行、原茂樹、別宮貴仁、前谷繁、松本重紀、松本智美、山本佳世子、和田新治、松佐英明、元山義弘

昭六三 阿部博、安藤昌彦、飯尾美保、石原美保、入谷誠、岩崎和子、植村崇晴、梅岡達生、岡本久二代、小栗直子、北角強、木下晶、葛原真由美、近藤健二、神忠輝、高木早智子、宝田繁基、田中卓也、玉木雄 郎、佃英樹、長尾美穂、中川裕理、橋道裕、林和英、別宮欣暢、増田晋一、松原寛、三崎恵奈、三谷嘉輝、宮脇幸子、村川哲也、八代田英樹、山下久美、山本岐香

平元 安部慶吾、伊沢栄子、石丸真弓、井町仁美、入谷知世、宇野和照、大嶋功、岡本Gustafson有花、折目貴司、笠井幸博、笠井陽子、日下栄也、迫田真由美、佐々木雅張、高橋陽一、武田祐司、谷康弘、谷明世、鳥養智子、中西充、中村雅子、橋本和之、瀨崎直哉、浜崎育子、早川知子、間島聡子、真鍋未希、三島宏之、三好昭生、茂中浩司、森本剛、山口典子

平二 石原加奈子、入谷浩之、小川淳也、小川明子、尾崎敬介、落合由香、川人香織、桐林孝明、楠本衣代、十河利樹、田中純、田淵昌太、田村亘、千切谷耕一郎、中瀬浩一、中村聡明、藤尾陽子、古竹美奈、増井貴人、溝淵正和、茂中芳佳、山上有紀、山下史朗、山根由依子、余喜多仁、渡邊淑子、杉田直人、田淵薫

平三 穂村ユリ子、伊賀彰子、市原英行、伊藤香、井上靖志、入門美穂、上原直人、右近有花、岡本佐織、小川敦史、小川孝子、乙井実香、香川英俊、片山哲也、河田悦夫、菊島将臣、木村彰宏、佐藤公二、菅谷布美、田中育太、田中誠也、田中茂登、筒井雅彦、常谷典生、豊田佳代子、牧田文子、増田浩城、三島史子、村上貴昭、村上太、村川祐介、森貞志、森布季、安田敏男、安原正浩、山下雅洋、山下亮、渡邊克充、田中和昇

平四 伊藤祐子、岩部美紀、大須賀礼子、鎌田英紀、鎌田浩志、木太拓志、北泉秀樹、崎山美幸、谷本美香、東野伸也、中野志保、中原健一、名塚太二、藤田晋、松井久知、松岡健司、三笠善寛、村川和也、柳礼恵、山地貴子、山添佳恵、横田恭子、百克将平五 新井貴博、上田香代、岡本富美子、小川英二、鎌田多紀、亀山忠秀、川井俊一、川口聡、小林聡美、小松淳子、高尾真司、高濱均、出生由香、中野伸彦、西村雅子、橋本恵子、福岡淳志、藤川愛、村松大輔

森大樹、森周一、矢田千枝、吉川明人、喜多時乃平六 赤嶺良美、印藤加奈子、上田武司、岡知美、岡誠、鎌田恵子、川西章弘、小西賢亮、末澤宏哉、土田晶子、豊嶋健史、中井宏二、中原大道、西稚子、西原千代、長谷川高誠、藤崎裕子、松浦麻矢、松本澄洋、溝淵純子、安田仁、山上佳樹、山下晃弘、山下正幸、洵江純子、吉原達也、間嶋都世

平七 阿部憲道、天野美智穂、井川早都子、石川哲朗、大谷祐生、居石浩章、海部久美子、梶村知宏、串田えみ、小石正裕、合田一洋、佐々木美栄子、柴田啓子、杉上景子、高木大輔、高橋利英、富田あかね、中筋理恵子、林和彦、藤井泰宏、藤田妃佐子、藤本圭司、松岡俊郎、松本由佳、三木健太郎、溝淵和則、向井麻央、森西崇、淀妙子、市原武

平八 阿部万理、井関龍太、岡野剛士、小川竜司、小田原亮、グレイトリイ詩子、五ノ坪佑輔、近藤巨匡、篠田陽子、神内圭吾、杉山和江、高田佑基、中井隆文、中原理絵、中山信博、橋田祐一郎、福家孝一、藤原慶一、松本直樹、八十四川明子、山路早苗、尾崎元彦、久保清子、香西悦子、十河誠、濱元ムツ子

平九 井谷久美、伊藤育世、鶴川康夫、太田裕人、大森裕子、川畑里佳、川東芳文、木村誠、迫田達也、下地正恵、高橋慶広、長谷部文子、濱田康宏、矢野智宣

平一〇 石田恭子、鎌田長明、桐田早代、久米一水、小藤智史、多田崇、戸阪匡博、堀川昌宏、向井大輔、村上功太郎、村田慶子、塩田浩子、西山成子

平一一 大美智敬、岡尚人、小笠原恵、片山進亮、久保太郎、厚井志郎、佐藤崇裕、寒川洋次、長町篤、藤澤衛、安田哲

平一二 池上勝哉、糸瀬ふみ、井上雅世、大澤健二郎、太田貴也、岡田誠一、佐々木基、佐藤藤、田尾誠、谷岡弘邦、常谷紗己、中川さや子、長谷川博紀、福井裕介、前田直人、森田浩之、八十四川豊

平一三 石原ゆかり、大井雄介、岸下定弘、児山浩崇、笹島幹広、大黒翔太、永井美智子、福田香代子、三木武寛、三木雅登、宮城麻友、向井健二郎、八尾祉顕、吉成信人、淀谷光子、秋山宗徳、上田昇

平一四 伊藤謹民、伊藤光広、大熊裕貴、岡田卓巳、佐々木崇徳、神野敬祐、高橋彩子、千葉一孝、中山

且、藤澤純平、宮本詩子、森正憲、森敬治、有原増美
平二五 明石瑛美子、大林由佳、木村慧、厚井依子、佐伯太朗、多田彩乃、田村祐一、田村勇典、富田諒太郎、中山理沙、原田芳宏、樋口篤、松浦毅士、松家絵美、森田康之、横井大典
平一六 入船利彦、岩本康平、塩谷奈央子、高橋航大、辻直輝、富田昌平、中辻早希子、新枝麻衣子、橋本信之介、橋本義規、藤田洋志、松岡正之、山ノ井基広、津川沙織、坂東真、平井アヤ子
平一七 尾島三千代、桂嘉宏、木村圭一、佐藤雅之、柴田郁、徳田和人、長谷川博之、福井雅一、堀川知紀、松岡加奈子、宮本崇平、和田圭伊子、池内一治
平一八 荒川美奈、入谷優、萱原佳奈、久保友次郎、小林俊博、笹島正豊、関満晃、多田敦雄、田中均樹、富田洋輔、中川佳洋、中山由美、西山由理花、樋口睦子、前田詠理、三日月佑梨、元山美希、森裕昭
平一九 井阪雅仁、植松慎一郎、岡本裕子、絹笠沙耶香、中条匡臣、土岐芳寛、永峰優一、野村美佐子、馬場翔太郎、藤澤範子、藤澤友輝、藤本達也、前田雅美、松本美都、山口智也
平二〇 朝倉健太、川原一晃、香西真道、佐藤万里奈、佐藤悠奈、関元由紀、田川良和、谷美里、西牧正博、野口佑太、藤沢陽大、吉田勇人、和田学政、尾崎友合子
平二一 青木咲貴、安岐智晴、大林昌平、門田浩史、久詰修平、小西徹、田岡伸崇、多田晋、土岐有美子、中村清太郎、馬場真理子、宮本瑤子、元山佳奈、横田泰啓
平二二 小原和花、鎌倉瑞基、木村智美、後藤由衣、櫻又由伽子、佐藤哲人、塩入愛美、谷勇輝、戸嶋圭、八村良祐、廣瀬友基、藤澤智子、藤本卓也、増島祥、森光太朗、山田佳明、横井茉莉、池添治、松川万須美
平二三 植田貴久、大出小夜子、大原壮一、大森真理、岡内啓悟、岡田直之、川西真明、楠瀬智己、香西健太郎、佐藤伊純、佐藤舞、乃村勇輝、長谷川力、松岡美玖、三木麻里子、港孔太、吉田沙織、渡邊二朗、渡邊修也
平二四 井手うらら、岩間弓奈、河田祐太郎、佐藤夏実、関侑華、辻曉里、坂東秀人、藤本みち、細谷

泰祐、堀光毅、松下恵介、南萌音、吉田満利恵、和田彩花
平二五 石濱佐和子、小出英南子、小西萌和、谷村一成、廣瀬元基、前田喬次、松岡明恵、松本実希、森田夏帆、山田富之、吉本慎太郎
平二六 相場佑莉、安藤さおり、石丸弘之、宇佐見天慧、朝慶太、喜田壮士郎、北山由紀乃、河野雅子、角田祥次郎、徳武直、三日月咲紀、美馬章宏、三宅遥、山本怜見
平二七 大谷勇樹、大出洗起、佐藤聡太、谷和樹、飛梅里佳、富田礼央奈、原田智行、藤澤良太、吉野千秋
平二八 石濱加彌子、太巻侑香、朝眞澄、大谷明絵、大西智、岡崎律道、尾端輔、久保一毅、河野詢平、坂本亮、中西凌河、野口愛心、松岡秀悟、森春菜、吉峰広貴、渡邊蘭
平二九 麻田恭大、石丸真子、香川雄右斗、川西祐毅、木下純一、葛原寛子、佐藤健斗、佐藤光起、十川優輝、苑田千央、田中紗弥加、出口和希、乃村夏愛、林利穂、東原有、三宅沙弥、山下佳乃、山本黎渡辺由洋
平三〇 浅原悠希、芦田一真、岡内紀翔、四宮啓公、高木直哉、瀧川圭太、多田翔哉、玉木献人、太山賀珠人、鳥養武弘、中西三春、平尾悠里子、森雛子、山崎裕里加、山下卓真、權日豊美、牧井幸一
平三一 石田公平、千切谷将一朗、千葉勇渡、坪川龍聖、土居孝高、梨野勝己、西尾智樹、蓮井祐樹、増田麻夢、松浦彪、三宅奈都、池内善美、余島彩華、稲月新
令二 大西晴日、小川陽生、門田光輝、兼光佑輔、川西耕輔、河野華子、志原那步、田辺步夢、濱龍正、細井心平、松岡太一、松澤巧貴、美馬由布子、藪内結海、山下倫宏、山本陽基、岩橋静公
令三 安藤恵利花、石川裕大、石原志朗、伊藤舞、植田詩穂、大社裕典、小原悠華、河北彩希、木村彰人、玖村春香、河野純平、佐藤浩太郎、新川武尊、須藤真緒、関谷林蔵、田中大梧、坪川駿祐、中西明、西原なずな、野角咲菜、藤井創大、星川ひかる、三谷知蔵、宮武桜子、六車匠史、村上稜真、村川岳人、山口明理、山本悠仁、寄田祐真
令四 秋山倫菜、牛田康太、岡美晴、岡本千奈、加

藤天晴、川西末菜、菊澤美咲、岸下龍乙、河野息利、四宮悠允、田中美海、寺尾咲、土居尚志、富田さくら、豊田美玖、西尾仁徳、西山雅春、原寛和、平岡未羽、平野沙也加、細川和暖、増田峻吾、松浦鳳、眞鍋舞、三木結子、山口翔真、米本咲貴
令五 一原優奈、岩瀬優基、清水孝浩、高尾結衣、千切谷太翼、濱雪乃、引田望、平井愛美、福家穂高、藤尾茜風、丸山莉紗、溝渕莉紗、宮脇彬
令六 安藤公哉、石川昂輝、伊藤智哉、猪熊咲良、今面由樹、牛田百花、宇野伶、大熊李沙、大村洋翔、岡村将大、河田結衣、菊池春香、岸上千宙、北村優名、工藤寧々、國廣悠希、河野隼利、志原大介、清水峻平、白井佑果、杉原奏良、須崎智裕、諏訪直太郎、高木愛理、竹本康佑、田中沙波、津山海志、長尾光洋、難波里帆、原田耀平、福島明映、三好亜侑、村上大樹、森川敬史、米本咲和、清家朋哉
令七 明石清佳、秋山和加、池口健一郎、猪口真由、岩瀬花奈歩、植本勲ノ助、瓜生健太、大社敬次、大島拓己、木村琴春、櫛橋俐心、小松遼悟、庄司光里、杉山由奈、曾我部百合子、大日春基、高塚想乃子、高林恵、多田晃太郎、豊嶋咲智、坂東倫太郎、藤澤奈央、森川響、横山瑛大、吉川弘人、吉田光希、越口勇太、上原広嗣、西川司、藤岡由羽、
令和一・三年度会費納入者（令和八年四月一日以降入金）
高 高
昭二九 池内章
令和六年度会費納入者（令和八年四月一日以降入金）
晚 翠
昭一九 井上京子
高 高
昭二八 天野彰
昭二九 中西芳子
昭三二 木島京子
昭三六 陶聡子
昭三九 秋山美紗子
昭四〇 長崎厚子

昭四三 森秀樹
昭四四 西田直樹
昭四五 井上ツヤ子
昭四六 中村良平、後藤順子、塚原布海子
昭四七 岸本光代
昭四八 藤田和志、藤田光代
昭五一 滝川稔
昭五三 三好賢一、三好由美子
昭五六 石岡邦章
昭五八 乃村公二
昭五九 阿倍博信
昭六二 多田孝一郎
平元 中尾弘子
平一〇 安藤真之
平一一 鶴川優一郎
平一七 三好隆行
平一八 白井雄喜
平二〇 三好秀明
平二二 三好正城
平二三 乃村勇輝
平二九 乃村夏愛
令二 山下倫宏
令三 井手下凜音
令六 清家朋哉

口座自動振替 お申込みにあたって

玉翠会員の皆様の指定預金口座から、毎年自動で会費がお振替出来ます。
窓口やコンビニに出向くことなく、また、お振込忘れも防ぐことができます。

振替日 **9月27日（銀行等、金融機関休業日の場合は翌営業日）**

《お申込までの流れ》

STEP 1 同封の「預金口座振替依頼書」に黒のボールペンで、太枠内をもれなく
▼ ご記入、ご捺印します。

STEP 2 「預金口座振替依頼書」を高松高等学校玉翠会事務局までご送付ください。

【あて先】 〒760-0017
香川県高松市番町三丁目1番1号
香川県立高松高等学校玉翠会事務局 宛

【ご記入にあたっての注意事項】

1. 押印は金融機関届出印をお願いいたします。不鮮明の場合は再提出をお願いする場合もございますので、ご注意ください。
2. 預金者名はフリガナも必ずご記入ください。
3. お引落とし額をご記入ください。（会費は一口2,000円からとなっております）
4. ご記入いただいた預金口座振替依頼書はコピーをとり、控えとしてご自身にて大切に保管ください。
5. ご登録完了のご連絡はございません。書類に不備がなければ、8月5日（事務局着）までにご依頼の方は当年度の会費より、それ以降にご依頼された方は次年度の会費より自動お振替開始になります。
6. 通帳摘要欄には、「ギョクスイカイヒ」と印字されます。なお、一部金融機関では「ワイドネット」（ゆうちょ銀行）または「ミツビシUFJファクター」と印字されます。

香川県立高松高等学校 玉翠会事務局

〒760-0017 高松市番町3丁目1番1号
TEL (087) 831-7251(代) FAX (087) 831-0010
E-mail info@gyokusui.org



メール



公式 LINE

ホームページ

香川県立高松高等学校同窓会玉翠会本部

<https://gyokusui.org/>

玉翠会本部

検索



ホームページ

- ▶ 創立 130 周年記念誌閲覧パスワード
takako130kinen
- ▶ 卒業生限定コンテンツパスワード
gyokusuikai1950（固定）
- ▶ 玉翠会報閲覧パスワード
2rux3（毎年変更しています）

玉翠会会費の納入にご協力ください

(支部会費とは別になります)

毎年の会費納入ありがとうございます

同窓会活動は、卒業生の皆様からの会費によって支えられています。会費は、玉翠会の運営費だけでなく、会報発行、在校生への奨学金制度や教育活動の補助など、様々な活動に活用されています。しかしながら、近年の少子化の影響により生徒数が減少し、同窓会の財源も厳しくなっています。つきましては、より一層の会費納入へのご協力をお願いいたします。

ご自身の会費納入状況は、毎年11月中旬頃ホームページに掲載する「納入者一覧（10月末時点）」でご確認いただけます。ホームページトップ画面右下の、「卒業生限定コンテンツ」バナーよりお入りください。

※パスワードは19頁に掲載しています。

皆様のご協力が、母校の発展に繋がります。何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

納入方法は以下の5種類

1. 預金口座から自動振替

同封の「預金口座振替依頼書」にご記入いただき玉翠会事務局までご郵送ください。

※詳細は 19 頁をご参照ください。

振替日 9 月 27 日（銀行等、金融機関休業日の場合は翌営業日）

2. 郵便局からお振込

同封の郵便局用払込用紙にてお振込ください。

3. コンビニ（またはスマホ決済）からお振込

同封のコンビニ用振込用紙にてお振込ください。

また、以下のスマホアプリでもバーコードを読み込み、ご利用いただけます。

ファミペイ（請求書支払い） au PAY（請求書支払い） 楽天ペイ（請求書支払い） 支払秘書 Pay B

4. クレジットカード決済（PayPal）にてお支払い

玉翠会のホームページをご参照ください。

5. その他金融口座からお振込

ゆうちょダイレクトの電信振替でゆうちょ銀行口座へ送金、また他の金融機関からも下記の口座へお振込が行えます。振込手数料は各自ご負担願います。

入金処理の際は、必ず6桁の会員番号を振込人氏名の前に打電してください。納入者を特定出来ない場合は「納入者不明」としてご入金させていただきます。

例) 1 2 3 4 5 6 タカマツタロウ

口座名義：香川県立高松高等学校玉翠会

口座番号：ゆうちょ銀行 一六九（イチロクキユウ）店（169） 当座 0031115

百十四銀行 本店 普通 0078326

※会費を納入いただいた会員の方には、会報発行時期になりましたら玉翠会報、または Web 版閲覧用パスワードをお送りいたします。

詳しくはこちら： 玉翠会ホームページ「年会費納入のお願い」

<https://gyokusui.org/kaihi>



玉翠会 LINE 公式アカウントを開設しました！

玉翠会からののお知らせやイベントなどを不定期に配信！

右記 QR コードをスマホ等のカメラアプリで読み込み、

LINE アプリで友だち登録をしてください。（8頁に関連記事）

※登録された友だち同士が誰かを知ることはできません。また、管理者も友だちからメッセージが届かない限り、登録されている友だちを特定することはできません。



友だち募集中